Panasonic

# パーソナルコンピューター 取扱説明書『一問一答集』

品番 CF-X10シリーズ

パソコンの一般的な操作方法やよくある質問を紹介しています。

本書のほかに…

**はじめましてパソコン**
最初にすること、知っておきたいことのほか
パソコンの基本、パソコンによって広がる
世界について紹介しています。

**活用例集**
パソコンを楽しく便利に使いこなす
ための活用例を紹介しています。

パソコン画面上の「マニュアルの部屋」には、上記に加えて、用語集や各アプリケーションのマニュアルなど、いろいろなマニュアルが集められています。

# この説明書での約束ごと

## ●キーの表記

・キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。

（例） N/み ― N と書かれていたら N/み を押して「N」を入力する意味です。

・あるキーを押しながら、別のキーを押すような操作の説明は、次のように「＋」を使って表記します。

（例） Fn ＋ F5 ：Fn を押しながら F5 を押す

## ●参照先の表記

参照してほしいページ・項目・他の説明書などがある場合は、→の後に参照先を記載しています。また、📖は紙のマニュアルを示すマーク、💻は画面でみるマニュアルを示すマークです。

（例） →24ページ
→15ページ「電源が入らない」
→📖『はじめましてパソコン』「使う前の準備」
→💻『活用例集』

## ●画面やイラスト

本文中の画面やイラストは一例です。一部実際と異なる場合があります。

## ●略号

💿ドライブ ：DVD-ROM&CD-R/RW一体ドライブのことを、本書では💿ドライブと表記します。

## ●正式名称

Windows、Windows XP：
正式名称は、Microsoft® Windows® XP Home Editionです。

# もくじ

## よくあるパニック

Q&A

# トラブル対策

# トラックボール・ジョグホイール

解説

# キーボード・文字入力

Q & A

# 画面

解説



Q&A

# 音

# 電源・省電力

# ドライブ・ディスク

Q & A

# ファイル・フォルダー

解説

Q&A

# アプリケーション

Q & A

# 周辺機器

解説



Q & A

# 通信・インターネット・電子メール

『活用例集ダイジェスト版（通信・音楽・画像）』をご覧ください。

# 再インストール



# セットアップユーティリティ



# その他

解説



Q & A

## Q 電源が入らない

**A** バッテリーパックの状態表示ランプが緑色に点滅していませんか？この場合、バッテリー残量がわずかしかないため起動できないことがあります。
ACアダプターを接続してください。

**A** ACアダプターを接続していても電源が入らない場合は、ACアダプターおよびバッテリーパックを外してから再度装着し、起動してみてください。

## Q パスワードを忘れた

**A**

「コンピュータの管理者」ユーザーのパスワードを忘れたときは、その「コンピュータの管理者」ユーザーでパソコンにログオンすることができません。
（コンピュータの管理者のみが行うことができるシステムの設定や、アカウントの追加や削除などはできなくなります。）
再インストールをする必要があります。（→192ページ「買ったときの状態（工場出荷状態）に戻すには」）再インストールをした場合、個人で作成したデータは消えてしまいます。このような万一の場合に備えて、大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。（→36ページ「大切なデータを守るには（バックアップ）」）

「制限付きアカウント」のパスワードを忘れたときは、「コンピュータの管理者」でログオンし、パスワードを設定しなおしてください。
コンピュータの管理者でログオンし、制限付きアカウントのパスワードを変更する方法：

1. コンピュータの管理者でログオンする。
2. [スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]をダブルクリックする。
3. パスワードを変更したいアカウントのアイコンをクリックする。
4. [パスワードを変更する]をクリックする。
5. 「新しいパスワードの入力」と「新しいパスワードの確認入力」に制限付きアカウントのパスワードを入力する。
6. [パスワードの変更]をクリックする。

（次ページへ続く）

（つづき）

**A** スーパーバイザーパスワードを忘れたときは、セットアップユーティリティを起動することはできません。
お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。この場合、無償保証期間であっても有償の修理扱いになります。

**A** ユーザーパスワードを忘れたときは、スーパーバイザーパスワードを使ってセットアップユーティリティを起動して、「セキュリティ」画面で設定し直してください。
→201ページ「セットアップユーティリティの設定」

**A** Microsoft® Word 2002などのファイルに付けたパスワードを忘れた場合、解除する方法はありません

## Q 「Remove disk...」と表示される

**A** フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入ったままになっていませんか？
Remove disks or other
Press any key to restart
と表示される場合は、システムを起動できないフロッピーディスクがドライブにセットされたままになっていることを意味します。この場合、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて、何かキーを押してください。

## Q 青い画面にメッセージが表示される

A パソコンに何らかの問題が発生したため、自動的にディスクチェックが行われている可能性があります。ディスクチェックが行われている場合、完了するまでにしばらく時間がかかります。

しばらく待ってみても動作しないとき

- Ctrl と Alt を押したまま Delete を押して、パソコンを再起動してください。（何度かこの操作をしないと再起動しない場合があります。）

それでも動作しないとき

- 電源ボタンを4秒間押し続けて電源を切り、再度電源を入れてみる。
- ACアダプターとバッテリーパックを外し、再度取り付けて電源を入れてみる。

## Q 「Windows 拡張オプションメニュー」という画面が表示される

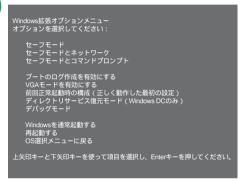
A

Windows拡張オプションメニュー
オプションを選択してください：

セーフモード
セーフモードとネットワーク
セーフモードとコマンドプロンプト

ブートのログ作成を有効にする
VGAモードを有効にする
前回正常起動時の構成（正しく動作した最初の設定）
ディレクトリサービス復元モード（Windows DCのみ）
デバッグモード

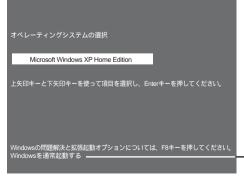
Windowsを通常起動する
再起動する
OS選択メニューに戻る

上矢印キーと下矢印キーを使って項目を選択し、Enterキーを押してください。

**パソコンに何らかの問題が発生しています。**
**↑ ↓ で「セーフモード」を選んで Enter を押し、下記画面が表示されたら Enter を押してください。**
**Windowsがセーフモードで起動します。**
**セーフモードとは必要最低限の能力で起動するモードで、このままでは、Windowsの多様な機能を使うことはできません。いったんWindowsを正しい方法で終了し、再度電源を入れてください。**
**再び、上記の画面が表示されたら、今度は「Windowsを通常起動する」を選び、下記画面が表示されたら Enter を押してください。**

オペレーティングシステムの選択

Microsoft Windows XP Home Edition

上矢印キーと下矢印キーを使って項目を選択し、Enterキーを押してください。

Windowsの問題解決と拡張起動オプションについては、F8キーを押してください。
Windowsを通常起動する

上記画面で「セーフモード」を選んだ場合は、ここに「セーフモード」と表示されます。

## Q 「Windows－仮想メモリ最小値が低すぎます」と表示される

**Windows － 仮想メモリ最小値が低すぎます**

システムの仮想メモリが少なくなって来ています。仮想メモリ ページ ファイルのサイズを増やしています。この処理の間、いくつかのアプリケーションのメモリ要求が拒否されることがあります。詳細情報に関してはヘルプを参照してください。

**メモリーが不足しています。**
**使っていないアプリケーションを終了してください。**
**念のため再起動することをおすすめします。**

## Q エラーメッセージが表示される

**A 起動時に表示されるエラーメッセージとその原因・対処について説明します。**

| 表示されるメッセージ | 原因・対処方法 |
|---|---|
| [8042 Gate - A20 Error]<br>[Address Line Short!]<br>[CH-2 Timer Error]<br>[DMA Error]<br>[DMA #1 Error]<br>[DMA #2 Error]<br>[INTR #1 Error]<br>[INTR #2 Error]<br>[Display Switch Not Proper] | 左記のメッセージのいずれかが表示された場合は、システムボードの故障です。<br>メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |
| [C: Drive Error]<br>[C: Drive Failure]<br>[D: Drive Error]<br>[D: drive failure]<br>[HDD Controller Failure] | 左記のメッセージのいずれかが表示された場合は、ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。<br>再インストールを行ってみてください。再インストールを行っても症状が改善されない場合は、メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |
| [Cache Memory Bad, Do Not Enable Cache!] | 左記のメッセージが表示された場合は、CPU の故障です。<br>メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |
| [CMOS Battery State Low] | 左記のメッセージが表示された場合は、CMOS バックアップバッテリーが消耗しています。バッテリーの交換が必要です。<br>メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |

（次ページへ続く）

（つづき）

| 表示されるメッセージ | 原因・対処方法 |
| --- | --- |
| [CMOS Checksum Failure]<br>[CMOS System Options Not Set]<br>[CMOS Display Type Mismatch]<br>[CMOS Memory Size Mismatch]<br>[CMOS Time and Date Not Set] | 左記のメッセージのいずれかが表示された場合は、システム CMOS アクセス・エラー。システムボードの故障です。<br>メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |
| [Diskette Boot Failure]<br>[FDD Controller Failure]<br>[Invalid Boot Diskette] | 左記のメッセージのいずれかが表示された場合は、フロッピーディスクのエラーです。<br>新しいフロッピーディスクに交換してみても、エラーが再現する場合は、システムの故障です。メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |
| [Keyboard Is Locked...Unlock It]<br>[Keyboard Error]<br>[KB/Interface Error] | 左記のメッセージのいずれかが表示された場合は、キーボードコントローラエラー。システムボードの故障です。<br>メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |
| [No ROM BASIC] | 左記のメッセージは、どのドライブからも起動できなかった時に表示されます。<br>メッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。 |

## Q 起動時にビープ音が鳴り、画面に何も表示されない

**A** 起動時にビープ音が鳴って、画面には何も表示されない場合は、システムの故障ということが考えられます。ビープ音の回数によって、エラーの内容が異なります。下表でエラー内容をご確認のうえ、ご相談窓口にご相談ください。

＊拡張メモリーをセットしている場合は、取り外してみてください。それでもエラーが再現するようであれば、ご相談窓口にご相談ください。

| ビープ回数 | エラー内容 |
|---|---|
| 1回* | メモリーのリフレッシュができない。<br>（メモリーの故障です。） |
| 2回* | メモリーでパリティ・エラーが発生した。<br>（メモリーの故障です。） |
| 3回* | メモリーの先頭 64KB 分のエラー。<br>（メモリーの故障です。） |
| 4回 | システムタイマーエラー。<br>（システムボードの故障です。） |
| 5回 | CPU エラー。<br>（CPU の故障です。） |
| 6回 | キーボードコントローラエラー。<br>（システムボードの故障です。） |
| 7回 | CPU 例外割り込みが発生した。<br>（CPU の故障です。） |
| 8回 | VRAM アクセス・エラー。<br>（システムボードの故障です。） |
| 9回 | BIOS ROM のチェックサムが合わない。<br>（システムボードの故障です。） |
| 10回 | システム CMOS アクセス・エラー。<br>（システムボードの故障です。） |
| 11回 | システムキャッシュエラー。<br>（CPU の故障です。） |

## Q 砂時計のマーク⌛が出たままになる

**A**

まだ何かの処理が行われている可能性があります。もうしばらく待ってみてください。
しばらくして Esc を押してもポインターが ⌛ のまま変わらないときは以下の手順で再起動してください。

1 [スタート]→[終了オプション]をクリックする。

[スタート]をクリックできないときは ⊞ を押してみてください。

2 「再起動」を選ぶ。

上記の操作ができない場合は25ページ「マウスやトラックボールのポインターが動かない」の操作を行ってみてください。

## Q マウスやトラックボールのポインターが動かない

**A** 入力待ち状態のウィンドウが後ろに隠れている場合があります。以下の手順でウィンドウの表示順を切り換えて確認してください。

1. Ctrl+Alt+Deleteを押す。
「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されます。
2. [アプリケーション]タブをクリックして、一番前に出したいアプリケーション名をタスク一覧の中から選んで、[切り替え]をクリックする。

**A** 処理が“暴走”したり、何らかの問題が発生してハングアップ（“フリーズ”ともいいます）した可能性があります。

### アプリケーションの強制終了

しばらく待っても状態が変わらない場合は、以下の手順で操作中のアプリケーションを終了してください。

1. Ctrl+Alt+Deleteを押す。
次ページのような画面が表示されるまで、少し時間がかかる場合があります。約1分ほど待っても、表示されない場合は、再度、Ctrl+Alt+Deleteを押してください。
何度Ctrl+Alt+Deleteを押しても、次ページの「Windowsタスクマネージャ」画面が表示されない場合は、27ページの手順に従って強制的に電源を切ってください。

（次ページへ続く）

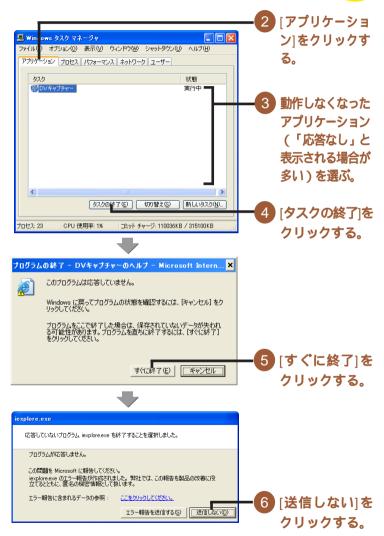
（つづき）

2 [アプリケーション]をクリックする。

3 動作しなくなったアプリケーション（「応答なし」と表示される場合が多い）を選ぶ。

4 [タスクの終了]をクリックする。

5 [すぐに終了]をクリックする。

6 [送信しない]をクリックする。

（「送信する」場合は、通信できる環境にあることが必要です。）
上記手順を行っても、アプリケーションを終了できない場合は、次ページの手順に従って強制的に電源を切ってください。

（次ページへ続く）

（つづき）

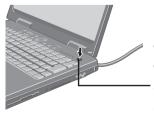
## 強制的に電源を切る

**お願い** この方法は、何も操作できなくなった場合の応急処置です。通常はこの操作を行わないでください。（ハードディスクが正常に動作しなくなることがあります。）作業中のファイルは保存されていない場合があります。

電源ボタンを4秒以上押したままにして電源を切る。
それでも電源が切れない場合は、ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。

## Q Windowsの終了操作をしたのに、電源が切れない

**A** 以下の方法で強制的に電源を切ってください。

**お願い** この方法は、何も操作できなくなった場合の応急処置です。通常はこの操作を行わないでください。（ハードディスクが正常に動作しなくなることがあります。）作業中のファイルは保存されていない場合があります。

電源ボタンを4秒以上押したままにして電源を切る。
それでも電源が切れない場合は、ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。

## Q 動作が遅い

**A** アプリケーションを数多く起動していませんか？
アプリケーションを処理するためのメモリーが不足している可能性があります。
使わないのに起動したままになっているアプリケーションは終了してください。
また、常駐しているアプリケーション（例えば、ウィルスチェックプログラムなどをインストールしている場合など）も終了してみてください。

**A** 上記を行っても改善されない場合は、編集中のファイルを保存し、アプリケーションをすべて終了して、パソコンを再起動してみてください。

<再起動の方法>

1. [スタート]→[終了オプション]をクリックする。

   [スタート]をクリックできないときは ⊞ を押してみてください。

## Q Windows が起動しない

**A** Windowsを起動するために必要なファイルが壊れている可能性があります。

→192ページ「買ったときの状態（工場出荷状態）に戻すには」の手順に従って再インストールを行うと、ハードディスクを工場出荷状態に戻すことができます。ただし、作成したデータなどは消えてしまいます。あらかじめご了承ください。

再インストールが正常に終了しない、または再インストールを行った後も正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

## Q アプリケーションや周辺機器を追加してから、動作がおかしくなった

**A** アプリケーションや周辺機器のドライバーは、必ず、Windows XPに対応したものをご使用ください。対応していないものをインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。

**A** アプリケーションのインストールや各種デバイスの追加で、パソコンの動作に不具合が出た場合、「システムの復元」機能を使うとパソコンを少し前の状態に戻すことができます。
ただし、復元の際に指定したポイント（日時）以降にインストールしたアプリケーションなどは失われます。

1. [スタート]→[すべてのプログラム] →[アクセサリ] →[システムツール] →[システムの復元]をクリックする。

2. [コンピュータを以前の状態に復元する]をクリックして◉を付ける。
3. [次へ]をクリックする。

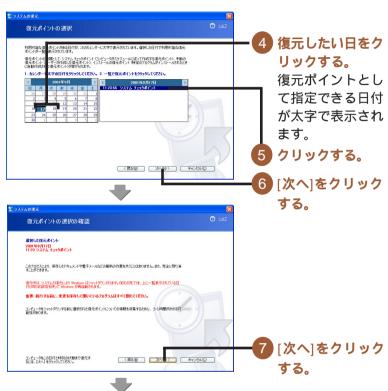
（次ページへ続く）

（つづき）

4 **復元したい日をクリックする。**
**復元ポイントとして指定できる日付が太字で表示されます。**

5 **クリックする。**

6 **[次へ]をクリックする。**

7 **[次へ]をクリックする。**

**システムが復元されWindowsが再起動されます。**

8 **[OK]をクリックする。**

（次ページへ続く）

（つづき）

## 復元ポイントの設定

将来的なトラブルに備えて、復元ポイントをあらかじめ設定しておくことができます。
アプリケーションをインストールする前の状態を記録しておくことができるので、アプリケーションに不具合があっても、インストール前の状態に戻すことができます。

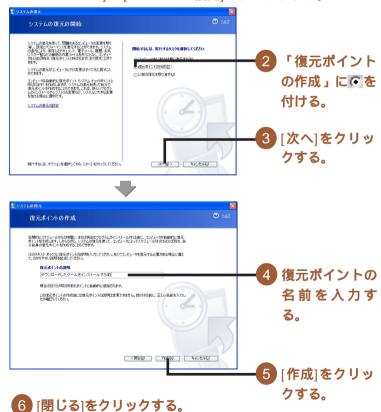
1 [スタート]→[すべてのプログラム] →[アクセサリ] →[システムツール] →[システムの復元]をクリックする。

2 「復元ポイントの作成」に◉を付ける。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元ポイントの名前を入力する。

5 [作成]をクリックする。

6 [閉じる]をクリックする。

## Q スタンバイや休止状態から復帰（リジューム）しない

**A** スタンバイ時に、ACアダプターを接続していない状態でバッテリーパックを取り外しませんでしたか？
スタンバイ時は電源の供給がなければ、保存された状態が消えてしまいます。
また、今後、バッテリーパックの取り付け・取り外しは、必ず、パソコンの電源を切った状態で行ってください。スタンバイや休止状態では行わないでください。

**A** 電源ボタンを使ってスタンバイまたは休止状態に入るとき、電源ボタンを4秒以上押したままにしませんでしたか？その場合、強制的に電源を切った状態になります。（この操作は、トラブルの際以外はおすすめできません。）

# 持ち運ぶときに注意すること

- パソコンに衝撃を与えないでください。
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションが使えなくなることがあります。パソコン本体の取り扱いには十分注意してください。
- 電源が入っている状態でパソコンを持ち運ばないでください。操作を終了して、電源が切れた状態で持ち運んでください。（HDDアクセスランプ の点灯中は持ち運ばないでください。）
- 接続しているケーブルや本体から突き出したPCカードなどは取り外してください。
- SDメモリーカードやマルチメディアカードを取り出しておいてください。
- LCDパネルは衝撃や振動に弱く、破損しやすいため、持ち運びの際には十分ご注意ください。また、LCDパネル部を持って、持ち運ばないでください。
- 落としたり、机の角など固い物にぶつけないようにしてください。
- 航空機を利用する際には、破損・盗難等を避けるために手荷物としてお持ちください。また機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

# お手入れのしかた

<ディスプレイ>

ガーゼなどの乾いたやわらかい布で、軽く拭いてください。

<ディスプレイ以外の部分>

水または、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、やさしく汚れを拭き取ってください。

中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

<トラックボール>

47ページ「トラックボールのお手入れのしかた」をご覧ください。

**お願い**

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれていることがあります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

解説

# 大切なデータを守るには（バックアップ）

ハードディスクは、データやアプリケーションを保存する重要な役割を担っています。
しかし、ちょっとした衝撃などで破損する場合があります。破損するとデータやアプリケーションが使えなくなります。
ぶつけたり、落としたりすることのないよう十分注意してください。また、アプリケーションの動作中やHDDアクセスランプが点灯している時は、電源を切らないでください。

せっかく作ったファイルを誤って削除したり上書きしてしまったり、ファイルが開けなくなったり・・・。ファイルのトラブルはパソコンを活用し始めるとだれでも１度や２度は経験するものです。このようなトラブルがあっても、別のメディア（フロッピーディスクやCD-Rなど）にコピーしておく（「バックアップ」をとっておく）ことで、被害を軽減することができます。バックアップはこまめにとることが大切です。
バックアップの一例を次に紹介します。

（次ページへ続く）

（つづき）

## フロッピーディスクにバックアップする

もっとも手軽な方法です。本機にはフロッピーディスクドライブが内蔵されています。フロッピーディスクは容量が1.44 Mバイト(2HDタイプ)と小さく、用途が限られますが、小さなファイルのバックアップには向いています。さらに圧縮ツールを使って、フロッピーディスクに入るようにファイルを圧縮するという方法もあります。→142ページ「ファイルの圧縮のしかた」

フロッピーディスクに保存したファイルなどを誤って削除したり、上書きしたりすることのないようライトプロテクトタブを書き込み禁止の状態にしておきましょう。

→117ページ「フロッピーディスクについて」

## 各種カードにバックアップする

SDメモリーカード、マルチメディアカード(MMC)、PCカード(ATAフラッシュメモリーカード)にバックアップするという方法があります。容量はフロッピーディスクよりもはるかに大きく、たとえばPCカード(ATAフラッシュメモリーカード)の場合、200 Mバイトを超えるものもあります。

ただし、マルチメディアカードとPCカードには削除や上書きからファイルを保護するライトプロテクトの機能はありません。

SDメモリーカードのライトプロテクト

矢印の方向にスライドする。

SDメモリーカード／マルチメディアカード

→178ページ「SD/マルチメディアカードについて」

PCカード

→175ページ「PCカードについて」

（次ページへ続く）

（つづき）

## 外部ドライブにバックアップする

USBコネクターやPCカードスロット、およびi.LINK端子を経由して、別売りのMOドライブやハードディスクドライブなどを増設するという方法があります。PCカードスロット経由の場合は、インターフェースカード(SCSIインターフェースカードなど)が必要です。MOドライブでは、128 Mバイト、230 Mバイト、640 MバイトなどのMOディスクを使用できます。また、MOディスクには削除や上書きからファイルを保護するライトプロテクトの機能があります。

## CD-R・CD-RWにバックアップする

容量も650 Mバイトと大きく、特にCD-Rは削除できないよう設定できるためバックアップに適しています。

ファイルやデータの盗難や変更防止などのセキュリティについては、→39ページ「データのプライバシーを守るには」をご覧ください。

# データのプライバシーを守るには

## パソコンにパスワードを設定する

セットアップユーティリティでユーザーパスワードを設定しておくと、パソコン起動時（またはリジューム時）にパスワードの入力が求められます。
パスワードを知らない人はパソコンを起動（リジューム）できません。
→201ページ「セットアップユーティリティの設定」

**お願い** パソコン起動時にパスワードの入力を3回間違うと「System Locked」と表示され、パソコンを起動することができません。リジューム時は正しいパスワードを入力するまで、リジュームすることができません。

## 各ユーザーごとにパスワードを設定する

各ユーザーごとにパスワードを設定しておくと、ログオン時パスワードの入力が求められます。パスワードを知らないユーザーは、ログオンすることができません。
＜パスワードの設定のしかた＞

1. ログオンする。
2. [スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]をダブルクリックする。
3. パスワードを設定したいアカウントのアイコンをクリックする。
4. [パスワードを作成する]をクリックする。
5. 「新しいパスワードの入力」と「新しいパスワードの確認入力」にパスワードを入力する。
6. [パスワードの作成]をクリックする。
7. ファイルやフォルダを個人用にするかどうかを選ぶ。

（次ページへ続く）

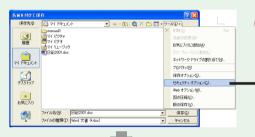
（つづき）

## ファイルにパスワードを設定する

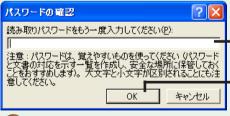
Microsoft® WordやMicrosoft® Excelなど一部のアプリケーションでは、作成したファイルにパスワードを設定することができます。

（Wordの例）

1 Microsoft® Wordで作成・編集を行う。

2 作成・編集を完了したら[ファイル]→[名前を付けて保存]をクリックする。

3 [ツール]→[セキュリティオプション]をクリックする。

4 「読み取りパスワード」にパスワードを入力する。

5 [OK]をクリックする。

6 4で入力したパスワードを再度入力する。

7 [OK]をクリックする。

8 [保存]をクリックする。

**お願い** パスワードは忘れないように、また他人に悪用されないように、管理には十分注意してください。→16ページ「パスワードを忘れた」

解説

# コンピューターウィルスの感染を予防するには

コンピューターウィルスの感染は、けっして他人事ではありません。電子メール・インターネットの通信機能やフロッピーディスクなどの外部メディアを通じて突然被害に遭うのがコンピューターウィルスです。コンピューターウィルスによる被害はその種類によってさまざまです。パソコンが起動しなくなったり、大切なデータが使えなくなったりするだけでなく、自分も気づかないうちにウィルスを発信していて、他人のパソコンにまで被害をおよぼすこともあります。メールなど、他のパソコンとデータのやりとりをする以上、ウィルスの侵入を完全に防ぐ方法はないといわれています。日頃から予防に心がけて、常にウィルス対策を意識しておくことが大切です。

## ウィルス対策

- 見知らぬ人から電子メールを受け取ったとき、添付ファイルがある場合は不用意に開かない。
- 知人から受信した電子メールであっても、添付ファイルがある場合は、その内容を確認してから開く。「身に覚えがない」といわれたときには受信したメールごと削除する。
- ファイルやプログラムを不用意にインターネットからダウンロードしない。
- 特に、出所がわからないMicrosoft® WordやMicrosoft® Excelのファイルおよび実行ファイル(EXE、COM、BAT、VBS、PIFなどの拡張子が付くもの)には注意する。
- 出所がわからないアプリケーションを不用意にインストールしない。
- ウィルスチェックプログラムを使う。常に最新のバージョンを使用し、アップデートを怠らない。曜日、時間を決めて定期的にチェックを行うことも大切です。
- パソコンを起動するときやデータを入手したとき、そしてインターネットの接続中などにウィルスチェックプログラムのチェック・監視機能を使う。

(次ページへ続く)

（つづき）

- フロッピーディスクなどの外部メディアやネットワーク、電子メール、インターネットからダウンロードして入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮解凍後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行う。
- 日頃から、必要なデータはこまめにバックアップしておく。
- インターネットや雑誌などからウィルスに関する最新情報を入手する。

## VirusScan（ウィルスチェックプログラム）のご案内

[スタート]→[すべてのプログラム]→[McAfeeウイルススキャン]をクリックすると、「Windows XP対応版マカフィーウイルススキャンのご案内」が表示されます。ご案内で紹介されているホームページから登録を行うと、「マカフィーウイルススキャン Ver6.0（Windows XP対応版）」のCD-ROMメディアが、日本ネットワークアソシエイツ株式会社より送付されます。詳しくは、「Windows XP対応版マカフィーウイルススキャンのご案内」画面の表示をご覧ください。

- お申し込み期間は、2001年10月25日～2002年3月31日までです。
- お申し込みを行うには、インターネットに接続できるように通信環境に整えておく必要があります。
- CD-ROMメディアの郵送代（1000円）とお申し込み時のインターネットにかかる通信料は、お客様のご負担となります。

解説

# コンピューターウイルスを発見したら

ウィルスチェックプログラムでは、コンピューターウィルスを発見した場合、自動的に除去するよう設定することができます。また、すでに感染し、パソコンが正常に動作しなくなった場合の最も確実な復旧方法として、再インストールをして本機を買ったときの状態（工場出荷状態）に戻すという方法があります。→192ページ「買ったときの状態（工場出荷状態）に戻すには」
被害を最小限に抑えるためにも、日頃から必要なデータのバックアップを残すようにしてください。

## ウィルスの被害にあったら

ウィルスによる２次感染など被害の拡大を防ぐため、次のようなことを心がけてください。

- 迅速にウィルス感染データの入手元、または、配布先に連絡する。可能な場合は、ウィルス除去などの対策を講じる。
- メールを発信しないようにする、LAN機能を利用している場合は、LANケーブルを取り外してネットワークに接続しないようにするなど、被害の拡大を防止する。
- ウィルス感染の被害届けを提出する。

## お届け出窓口

IPAセキュリティセンターウィルス対策室
〒113-6591　東京都文京区本駒込２丁目２８番８号
文京グリーンコート　センターオフィス16階
電話：　03-5978-7509（平日10:00〜12:00、13:30〜17:00）
E-mail：　virus@ipa.go.jp
URL:　http://www.ipa.go.jp/security/

（2001年10月1日現在）

# パソコンを良好な状態に保つには

パソコンを使いこなしていくうちにアプリケーションを追加したり、作成したデータが増えたりして、工場出荷の状態からパソコンの設定や環境も変わっていきます。やがてハードディスクの空き容量が少なくなったり、処理が遅くなったりすることがあります。アプリケーションやデータの特徴によって気をつける点は異なりますが、一般的に心がけたいポイントは以下のとおりです。

- むやみにアプリケーションやドライバーをインストールしない。特に出所のわからないアプリケーションは使わない。
- アプリケーションやドライバーはWindows XP対応のものを使用する。（対応していないものを使用すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。）
- 作成した大切なファイルはバックアップをとり、必要のないファイルは削除する。
- 不必要なアプリケーションはアンインストールする。
  →153ページ「アプリケーションの削除のしかた」
- 常駐型のアプリケーションは必要最低限にする。
- ウィルス対策をする。
- エラーチェック機能を使って、ハードディスクの状態をチェックする。
  →124ページ「ハードディスクドライブの状態の調べかた（良好な状態にする方法）」
- ディスクデフラグを起動し、ハードディスクの中身を整える。
  →125ページ「ハードディスクドライブの状態の調べかた（良好な状態にする方法）」
- アプリケーションの動作を快適にするために別売りのRAMモジュール（メモリー）を増設する。→181ページ「メモリーの増設のしかた」

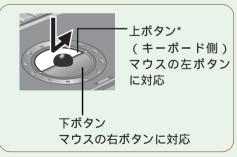
# トラックボールの使いかた

トラックボールとクリックボタンは、パソコンに指示を与えるためのものです。操作の基本は、トラックボールをくるくる動かして目的のアイコンにポインターをあわせ、クリックボタンを押すだけです。

詳しい操作については、📖『はじめましてパソコン』の「パソコンの基本」をご覧ください。

画面上のポインターが移動します。

**1 トラックボールをくるくる回す。**

**2 目的のアイコンにポインターをあわせ、クリックボタンを押す。**

*通常こちらのボタンを使います。

# トラックボールの設定のしかた

「マウスのプロパティ」でトラックボールや上下ボタンの働き、ポインターの動作の設定を行うことができます。
[スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]をクリックして、設定を行ってください。
（「プリンタとその他のハードウェア」アイコンが表示されていない場合は[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）

## トラックボールの上下ボタンの働きの設定

## ポインターの動作の設定

# トラックボールのお手入れのしかた

画面上でポインター（矢印）が思い通りに動かない場合、トラックボールにゴミやほこりが付いていることがあります。トラックボールのクリーニングを行ってください。

1 本体の電源を切る。

2 ACアダプターを抜き、バッテリーパックを取り外す。
→100ページ「バッテリーパックの取り付け／取り外し」

3 カバーを取り外す。

シャープペンシルの先端など先の細いものを2本用意する。

先の細いものをカバー上の溝に差し込み、カバーを反時計回りに回す。

カバーが少し浮き上がったら、そのままカバーをまっすぐ持ち上げて本体から取り外す。

**お願い**

- シャープペンシルの先端を使ってカバーを取り外す場合は、芯を折って溝に詰まらせたりすることのないように、芯を抜いた状態でご使用ください。
- カバーを紛失しないようにしてください。カバーは塗装されていますのでひっかいたりすると塗装に傷がつきます。
- 決して本体内部に触れたり異物を入れたりしないでください。故障の原因になります。

（次ページへ続く）

（つづき）

4 **トラックボールを取り外す。**

本体を傾けてトラックボールを取り外す。

5 **汚れを拭き取る。**

水または、水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼって、本体側のボール支持球部（3個所）とトラックボールの汚れをやさしく拭き取る。

6 **トラックボールを入れる。**

7 **カバーを戻す。**

カバーを図のような位置にはめ込む。（本体から浮き上がっていないことを確認してください。）

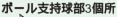
↓

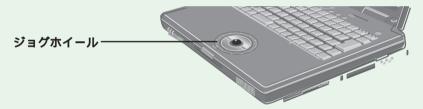
先の細いものを溝に差し込んでカバーを時計回りに回す。

↓

「カチッ」と音がして、溝がそれぞれ元の位置にきていることを確認する。

元の位置

解説

# ジョグホイールの使いかた

ジョグホイールは、ホイール機能付きマウスのホイール機能に相当します。
「画贈屋さん」「絵かき屋さん」「マイベストショット」でのお好みの画像の選択や、アルバム編集アプリケーション「蔵衛門デジブックfor パナソニック」でのページめくり、各種ウィンドウでの上下スクロール操作などに使うことができます。
ホイール機能に対応していないアプリケーションの場合、ジョグホイールは使用できません。

ジョグホイールを回すと、

スクロールバーが移動し、
隠れていた部分が表示されます。

スクロールしたいウィンドウをクリックして、アクティブ（フォーカスのある状態）にしておく必要があります。
アクティブにしたウィンドウ内にスクロール領域が2個所以上ある場合は、ポインターをスクロールしたい領域内に移動してください。

## Q トラックボールが動作しない

**A** トラックボールにゴミやほこりが付いていると、画面上でポインター（矢印）が思い通りに動かないことがあります。47ページ「トラックボールのお手入れのしかた」を参照してトラックボールのクリーニングを行ってください。

**A** コンピューターの動作が不安定になっている場合にも、ポインター（矢印）が動かない場合があります。25ページ「マウスやトラックボールのポインターが動かない」もご覧ください。

## Q ジョグホイールが動作しない

**A** スクロールしたいウィンドウのスクロール対象領域にポインター（カーソル）があるか確認してください。

**A** スクロール対象領域にポインター（カーソル）があっても、その対象領域がアクティブ（フォーカスがある状態）になっていないときはスクロールできません。対象領域をアクティブにするには、領域内を1回クリックしてください。（また、対象領域がアクティブになっている場合は、その領域内にポインターがなくてもスクロールすることができます。）

**A** 上記を行ってもスクロールできない場合、作成中のデータなどを保存し、アプリケーションを終了後パソコンを再起動してみてください。

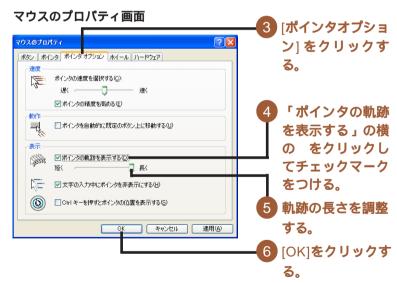
## Q ポインター（カーソル）が見にくい

**A**

**<ポインターの動きに軌跡を付ける>**

1. [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする。
2. [プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]をクリックする。
（「プリンタとその他のハードウェア」アイコンが表示されていない場合は[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）

**マウスのプロパティ画面**

3. [ポインタオプション] をクリックする。
4. 「ポインタの軌跡を表示する」の横の□をクリックしてチェックマークをつける。
5. 軌跡の長さを調整する。
6. [OK]をクリックする。

**<ポインターを大きくする>**

「マウスのプロパティ」の「ポインタ」の「デザイン」で大きいポインター（フォント）を選択してください。

## Q ポインター（カーソル）がスムーズに動かない

**A** ポインターの動く速度を調整することができます。

1. [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする。
2. [プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]をクリックし、「ポインタオプション」をクリックする。
   （「プリンタとその他のハードウェア」アイコンが表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）
3. 「速度」の設定を行う。（前ページ画面参照）
4. [OK]をクリックする。

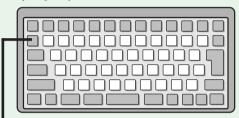
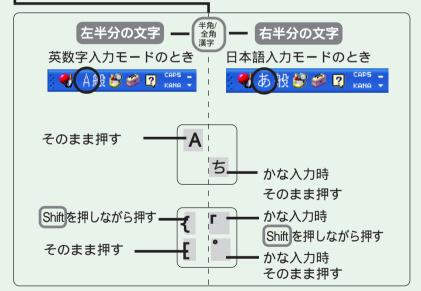
## Q ポインター（カーソル）が消えた

**A** トラックボールを2回くらい上下左右に動かしてみてください。画面の端にあったり、ウィンドウとの重なり具合いによっては、見えにくい場合があります。

**A** デュアルディスプレイモード（外部ディスプレイを連続したデスクトップ領域として使う機能）を設定している場合、外部モニターを接続していなくても、デスクトップ領域は拡大した状態になっています。このため、ポインター（カーソル）が外部モニターの領域に表示されている場合があります。
→172ページ「デュアルディスプレイ機能とは」

# 入力のしかた

## キー上の文字を画面に入力するには

キーボード

入力のしかたについて詳しくは、『はじめましてパソコン』「パソコンの基本」をご覧ください。

また、文字キー以外の使いかたについては、55ページ「Fnの使いかた」や57ページ「EnterやNumLkなど特殊なキーの使いかた」をご覧ください。

解説

# Fn の使いかた

Fn を押しながら青字で書かれたキーを押すと以下のように働きます。この操作をホットキーと呼びます。

| キー | 機　能 |
|---|---|
| Fn + F1 | LCDバックライトの輝度を下げます。 |
| Fn + F2 | LCDバックライトの輝度を上げます。 |
| Fn + F3 | 画面の表示先を切り換えます。キーを押すごとに内蔵ＬＣＤ→外部ディスプレイ→同時表示（内蔵LCD+外部ディスプレイ）→テレビの順に表示先が切り換わります。 |
| Fn + F4 | 内蔵スピーカーの音を消します。何もアプリケーションが動作していないときは、ボリュームコントロールの全ミュートにチェックをした状態になります。動作中のアプリケーションがある場合は、どのデバイスの音を消すかはアプリケーションにより異なります。 |
| Fn + F7 | 本機をスタンバイ状態にします。 |
| Fn + F10 | 本機を休止状態にします。 |
| Fn + F12 | 画面全体をクリップボードにコピーします。Fn + Alt + F12 を押すと選択されているウィンドウのみをコピーできます。 |

（次ページへ続く）

（つづき）

- システム起動中、あるいはスタンバイや休止状態処理を実行中は一部のホットキーは使用できません。
- 高速なシリアル通信中などにホットキーを使用すると、通信エラーになることがあります。通信中はホットキーを使用しないでください。
- 音声再生、録音中にホットキーを使用すると、音が乱れることがあります。
- Fn＋F3 で変更した設定は一時的なものです。再起動後は以下の設定になります。

  Fn＋F3：内蔵LCD+外部ディスプレイ
- 画像再生や動画キャプチャー中にホットキーを使用すると音声や画像が乱れることがあります。

# Enter や NumLk など特殊なキーの使いかた

キーそのものに特殊な機能がある「特殊キー」について説明します。

| キー | 機　能 |
|---|---|
| | [スタート]メニューのクリックと、同じ操作を行うことができます。 |
| | 下ボタン（マウスの右ボタン）のクリックと、同じ操作を行うことができます。 |
| NumLk | テンキーを有効にするかどうかを切り換えます。<br>有効にするとテンキーを使って数字を入力できます。<br><br>＜NumLkインジケーター点灯時：テンキー有効時＞<br>テンキーモード<br>そのまま押す<br><br>＜NumLkインジケーター消灯時：テンキー無効時＞<br>カーソルキーモード<br>Fn を押しながら押す |

（次ページへ続く）

（つづき）

| キー | 機　能 |
|---|---|
| Caps Lock/英数 | 英数字入力になります。 Shift を押しながら押した場合は、Caps Lock状態に入ります。もう一度押すと、解除されます。Caps Lock状態では、アルファベットキーを押すと、大文字入力になり、Shift を押しながらアルファベットキーを押すと小文字入力になります。 |
| Enter | パソコンに対して、コマンドやデータが入力されます。 |
| Shift | 通常、このキーを押しながらアルファベットキーを押すと、大文字入力になります。また、このキーを押しながら数字キーか特殊キーを押すと、キートップの上部に印字されている記号が入力されます。 |
| Ctrl、Alt | このキーを押しながら他のキーを押すと、特殊機能が有効になります。このキーを押しながら他の特殊キーを押した場合、アプリケーションによって機能が異なります。 |
| Esc、ScrLk、Pause/Break | アプリケーションによって機能が異なります。 |
| Home、End、PgUp、PgDn | アプリケーションによって機能が異なります。 |

## Q キーボードから記号（~ _ \）を入力したい

**A** ~ (チルダ、ニョロ) Shift + ~へ を押す。

_ （アンダーバー、アンダースコア） Shift + \ろ を押す。

\ （バックスラッシュ） \ろ を押す。

Arial（欧文）などの欧文フォントを選んでください。
フォントによっては、バックスラッシュは、「¥」と表示されます。
インターネットのURL（アドレス）で上記の記号を入力する場合は、半角英数で入力するのが一般的です。

## Q 日本語が入力できない

**A** 半角/全角 を押して言語バーに「あ」を表示してください。

**A** 言語バーに「あ」が表示されている場合、「ひらがな」にチェックマークが付いていることを確認してください。

言語バー

**A** キーボード上部の 1 ランプが点灯していませんか？ 1 ランプが点灯している場合、NumLkが有効になっているため、キーの一部がテンキーに割り当てられます。（文字キーが数字やカーソル移動キーとして動作します。） NumLk を押して、NumLkを無効に（1 ランプを消灯）してください。

## Q 特殊記号を入力したい

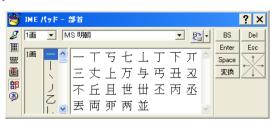
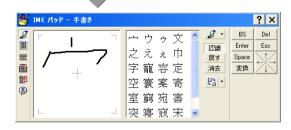
**A** 読みを「きごう」と入力し、変換キー（スペースキー）を2回押して、変換候補を表示させることができます。

## Q 読み方のわからない漢字を入力したい

**A** 言語バーから、IMEパッドを起動してください。

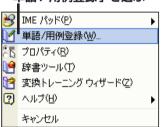
<わかっている部首を選び、一覧から選択>

（次ページへ続く）

（つづき）

＜トラックボールを使って手書きで特徴を書き、一覧から選択＞

# Q 単語をあらかじめ登録したい

## A 言語バーから、「単語／用例登録」を起動してください。

一度で変換できない個人名などの読みと漢字を登録しておくと、次回から変換候補として表示されるようになります。

「単語／用例登録」を選ぶ

# Q アルファベットの大文字／小文字を切り換えたい

**言語バーから半角英数または全角英数を選んでください。**

- **小文字を入力する場合、**Caps Lock**状態表示ランプ** A **が点灯していないことを確認してください。また、点灯している場合でも、** Shift **を押しながら入力すると小文字になります。**
- **大文字を入力する場合、**Caps Lock**状態表示ランプ** A **が点灯していることを確認してください。また、点灯していない場合でも、** Shift **を押しながら入力すると大文字になります。**

A **の点灯/消灯の切り換えは** Shift + Caps Lock **を押してください。**

Caps Lock**状態表示ランプ**

## Q 欧文特殊文字（ßàçï）や記号を入力したい

**A**

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[文字コード表]をクリックする。

2 フォント名に欧文用フォントを指定する。

3 入力したい文字を選ぶ。

4 [選択]をクリックする。

5 [コピー]をクリックする。

6 編集中の文書に戻り、Ctrl+V を押して貼り付ける。

**頻繁に使う特殊文字は「単語／用例登録」しておくと便利です。**
**→62ページ「単語をあらかじめ登録したい」**

「単語／用例登録」してもアプリケーション側で欧文フォントを選択しないと文字化けします。

# デスクトップにアイコンを配置する方法

デスクトップによく使うアプリケーションのアイコンを置いておくと、アイコンをダブルクリックするだけで、アプリケーションを起動できるので便利です。

## デスクトップにアイコンを配置する方法

1 「スタート」メニューの「すべてのプログラム」から、デスクトップに配置したいアプリケーションにポインターをあわせて、下ボタン（マウスの右ボタン）をクリックする。

2 [送る]→[デスクトップ（ショートカットを作成）]をクリックする。

デスクトップにアイコンが配置されます。

# アイコンの配置の変えかた

ウィンドウやアイコンのない背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックすると、メニュー画面が表示されます。「アイコンの整列」にカーソルを合わせると次のようなポップアップメニューが表示されます。

アイコンの並べかたの基準となるものを選びます。

アイコンが、左上から順番に等間隔に並べ替えられて、その位置に固定されます。（デフォルトは名前順です。どの順番にするかは変更できます。）移動しようとしても、固定された位置に自動的に戻ります。

デスクトップ上が等間隔のます目に区切られたようになり、今ある位置から一番近います目にアイコンが自動的に並べられます。

チェックマークを外すと、デスクトップ上のアイコンが隠されます。

解説

# 画面（背景やスクリーンセーバー）の設定のしかた

ウィンドウやアイコンのない背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックすると、メニュー画面が表示されます。
[プロパティ]をクリックし、「画面のプロパティ」画面で[デスクトップ]をクリックすると、次の画面が表示されます。

1 「背景」の中からデスクトップの背景にしたい画像を選ぶ。

2 [適用]をクリックする。
デスクトップの背景が、選んだ画像に切り換わります。

# 文字の拡大のしかた

アプリケーションによっては、拡大またはズーム機能のあるものがあります。詳しくはアプリケーションに付属の説明書をご覧ください。

## 文字・アイコンの拡大表示機能を使う

画面に表示される文字とアイコンの大きさを拡大表示します。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Panasonic]→[文字・アイコンの拡大表示]をクリックする。

2. 表示例を参考にして、「標準サイズにする」「大きいサイズにする」「特大のサイズにする」から適当なものを選んでクリックする。

3. 「設定の確認」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。
再ログオン後に、拡大表示の設定が有効になります。

アイコンの大きさを変えると、アイコンの配列が自動的に変更される場合があります。

（次ページへ続く）

（つづき）

## Windows の拡大鏡機能を使う

Windowsの拡大鏡機能を使うと、ポインターのある位置の画面を、デスクトップ上部に拡大表示することができます。

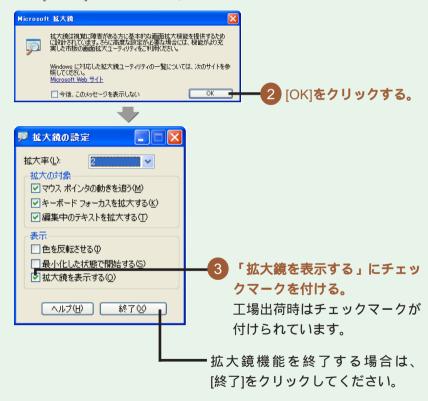
1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ユーザー補助]→[拡大鏡]をクリックする。

2 [OK]をクリックする。

3 「拡大鏡を表示する」にチェックマークを付ける。
工場出荷時はチェックマークが付けられています。

拡大鏡機能を終了する場合は、[終了]をクリックしてください。

## Q 画面が消えた

**A**

＜電源表示ランプが点灯している場合＞
省電力機能によって、自動的にディスプレイの表示が消えることがあります。Ctrl*などのキーを押してください。
*選択の際に使われるキー（Enter、Esc、Y、Nや数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl、Shiftなど）を押してください。

＜電源表示ランプが点滅または消灯している場合＞
省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅）または休止状態（電源表示ランプが消灯）になっていることも考えられます。電源ボタンを押して電源を入れてください。

**A**

バッテリー状態表示ランプが緑色に点滅していませんか？
この場合、バッテリー残量がわずかしかないため起動できないことがあります。
その場合、ACアダプターを接続してください。

**A**

表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。
Fn+F3を押してディスプレイの表示先を切り換えてみてください。

バッテリー状態表示ランプ（▭）
電源表示ランプ（⏻）

## Q 画面が暗い

**A** Fn + F2 を押してディスプレイの輝度を調整（明るく）してください。

**A** VISUAL BRIGHT（ビジュアルブライト）ボタンを押して、画面を次の3つのモードに切り換えることができます。見やすいモードを選んでください。

ビジュアルモード（ビジュアルブライトON）：VISUAL BRIGHT は緑色点灯

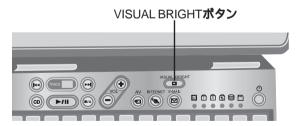
静止画、動画などの画像を明るく鮮やかに表示します。
工場出荷時はこのモードに設定されています。

シネマモード（ビジュアルブライトON）：VISUAL BRIGHT はオレンジ色点灯

DVDの実写映画などにある暗いシーンでも黒くつぶれないように、明るめに表示します。

ビジュアルブライトOFF：VISUAL BRIGHT は消灯

ワープロなど文字が中心のアプリケーションソフト使用時に適したモードです。

VISUAL BRIGHTボタン

## Q 残像が残る

**A** 同じ画面を長く表示しているとイメージが画面に焼きつき、残像となることがあります。これは異常ではありません。別の画面が表示されてしばらくすると、残像は消えます。

## Q 画面に緑・赤・青のドット＊が残る（正しい色が表示されないドットがある）

**A** カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境変化等で点灯しなかったり、常時点灯したりする画素*ができますが、これらの画素が0.002%以下（有効画素が99.998%以上）のものは故障ではありません。あらかじめご了承ください。

* 画素とは画像を構成する最小単位で、ピクセルとも呼ばれます。また、ドットとは画像を構成する小さな点の集まりです。スキャナーなどの場合は、画素とドットは1対1で対応しますが、インクジェットプリンターなどの場合は、1画素に対して複数ドットが対応します。

## Q タスクバー（スタート）が消えた

**A** キーボードの⊞を押すとスタートをクリックしたときと同じようにスタートメニューが表示されます。タスクバーの表示については以下の点を確認してください。

**A** ゲームソフトやプレゼンテーションソフトのスライドショーなどを最大画面表示している場合、タスクバーは表示されません。それらのアプリケーションを終了してください。

**A** 上下左右の画面の端にポインターを移動してください。
＜タスクバーが表示される場合＞
タスクバーのプロパティが「自動的に隠す」になっています。下記の手順に従って操作してください。

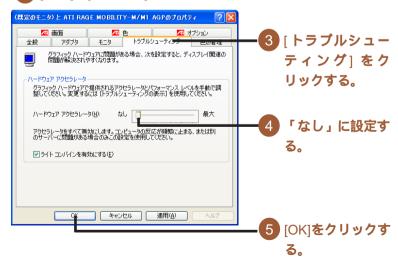
1. ボタンやアイコンのないタスクバー上を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックする。
2. [プロパティ]をクリックする。
3. 「タスクバー」の「タスクバーを自動的に隠す」のチェックマークを外して、[OK]をクリックする。

＜↕または↔が表示される場合＞
タスクバーが最も細くなっています。↕または↔の状態でドラッグして引きのばしてください。

## Q 画面の表示が乱れる（ウィンドウを閉じた後、画像が残るなど）

**A** 残った画像を消すには、ウィンドウやアイコンのない背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックし、[最新の情報に更新]をクリックしてください。

**A** 上記を行っても改善できない場合、以下の操作を行ってください。

1. デスクトップの背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックし、「プロパティ」をクリックする。
2. [設定]→[詳細設定]をクリックする。

**Q スタンバイや休止状態からの復帰（リジューム）後、しばらく待っても何も表示されない**

**A** 「よくあるパニック」の「スタンバイや休止状態から復帰（リジューム）しない」をご覧ください。（→33ページ）

**Q ポインター（カーソル）が見にくい**

**A** 「トラックボール・ジョグホイール」の「ポインター（カーソル）が見にくい」をご覧ください。（→52ページ）

**Q ポインター（カーソル）が消えた**

**A** 「トラックボール・ジョグホイール」の「ポインター（カーソル）が消えた」をご覧ください。（→53ページ）

## Q 「使用していないアイコンがデスクトップにあります。」と表示される

**A** 初回起動時から7日間が経過し、あまり使用していないアイコンがデスクトップにあった場合、下記のメッセージが表示されます。
「使用していないアイコンがデスクトップにあります。
デスクトップクリーンアップウィザードを使用すると、デスクトップをクリーンアップできます。」

<あまり使用していないアイコンを整理したい場合は>

ポップアップメッセージ上（×以外）をクリックすると、デスクトップクリーンアップウィザードが起動しますので、メッセージに従って操作を行ってください。この操作を実行すると、あまり使用していないアイコン（プログラムのショートカット）が、「使用していないショートカット」というデスクトップ上のフォルダーに移動します。ただし、プログラム自体が移動、変更または削除されるわけではありません。

<アイコンの整理を行わない場合>

ポップアップメッセージ上の×をクリックすると、メッセージが閉じられます。

次回からは、60日ごとに、デスクトップクリーンアップウィザード起動のためのポップアップメッセージが表示されるように設定されています。

（次ページへ続く）

（つづき）

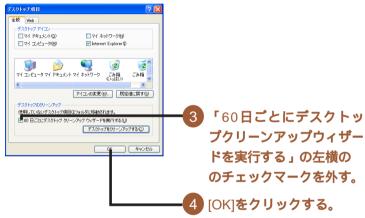
## ポップアップメッセージの自動実行の解除方法

1. デスクトップのウィンドウやアイコンのない部分を下ボタン（右ボタン）でクリックして、[プロパティ]をクリックする。

2. [デスクトップ]→[デスクトップのカスタマイズ]をクリックする。

3. 「60日ごとにデスクトップクリーンアップウィザードを実行する」の左横の□のチェックマークを外す。

4. [OK]をクリックする。

解説

# 音量の調整のしかた

## 操作ボタンで調整する

## 各アプリケーションで調整する

アプリケーションによっては、音量調整ができるものがあります。

Windows Media Player

WinDVD™ （以降、WinDVDと記載）

BeatJam XX-TREME

（次ページへ続く）

（つづき）

## 「ボリュームコントロール」画面で調整する

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
（「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）
2. [サウンドとオーディオデバイス]→[音量]をクリックして、「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックする。

上に移動させると音量が上がります。

マスターボリューム

チェックマークを付けるとミュート（消音）されます。

| | |
|---|---|
| WAVE* 、または CD オーディオ * | ：DVD、DV、音楽 CD、WAVE ファイル等の再生 |
| PCスピーカー | ：システムレベルの警告音 |
| SW シンセサイザ | ：MIDI 再生 |
| ライン入力 | ：音声入力端子に接続した機器の再生（使用しない時はミュート状態にしてください。） |
| マイク | ：マイク再生（使用しない時はミュート状態にしてください。） |
| 電話線 | ：モデムの通信音など |

* Windows Media Playerの[ツール]→[オプション]→[デバイス]の「DVD/CD-RWドライブ」の「プロパティ」で、「オーディオ」の「再生」で「デジタル」にチェックマークがある場合は「WAVE」、チェックマークがない場合は「CDオーディオ」で音量調整できます。

（次ページへ続く）

（つづき）

**「ボリュームコントロール」画面に、音量調整したい項目が表示されていない場合**

①「ボリュームコントロール」画面で、[オプション]→[プロパティ]をクリックする。
②「音量の調整」で「再生」に◉を付ける。
③「表示するコントロール」で、調整したい項目にチェックマークを付ける。
④[OK]をクリックする。

# 音の消しかた（ミュートのしかた）

以下の3とおりの方法があります。

## Fnを押しながら、F4を押す

Windows起動時にFnを押しながらF4を押すと、ミュートすることができます。タスクバーに音量アイコンが表示されている場合は、表示がに切り換わります。ミュートを解除するには、再度、Fnを押しながらF4を押してください。

## ⊕と⊖を同時に押す

Windows起動時に⊕と⊖を同時に押すと、ミュートすることができます。タスクバーに音量アイコンが表示されている場合は、表示がに切り換わります。
ミュートを解除するには、もう一度、⊕と⊖を同時に押してください。

## 「ボリュームコントロール」画面で調整する

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
（「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）
2. [サウンドとオーディオデバイス]→[音量]をクリックして、「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックする。

ミュートしたい項目の「ミュート」にチェックマークを付けてください。

（次ページへ続く）

（つづき）

| | |
|---|---|
| WAVE、またはCDオーディオ | ：DVD、DV、音楽CD、WAVEファイル等の再生 |
| PCスピーカー | ：システムレベルの警告音 |
| SW シンセサイザ | ：MIDI再生 |
| ライン入力 | ：音声入力端子に接続した機器の再生（使用しない時はミュート状態にしてください。） |
| マイク | ：マイク再生（使用しない時はミュート状態にしてください。） |
| 電話線 | ：モデムの通信音など |

Windowsを起動せずにCDプレーヤーを使用している場合はミュートできません。

# 迫力のあるサウンドで楽しむ

オーディオ出力端子* に外部スピーカー（別売り）を接続すれば、より迫力のあるサウンドを楽しむことができます。

＊USBコネクターに接続するタイプもあります。

## Q 音声再生時のノイズが気になる

A

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
（「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）

2 [サウンドとオーディオデバイス]→[音量]をクリックして、「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックする。

ライン入力とマイクをミュートしてください。

関連項目：→ 94 ページ
「CDのデジタル再生時にノイズが発生したり音がとんだりする」

**「ボリュームコントロール」画面に音量調整したい項目が表示されていない場合**

①「ボリュームコントロール」画面で、[オプション]→[プロパティ]をクリックする。
②「音量の調整」で「再生」に◉を付ける。
③「表示するコントロール」で、調整したい項目にチェックマークを付ける。
④[OK]をクリックする。

## Q 音が鳴らない

**A** 81ページの「音の消しかた（ミュートのしかた）」の設定を行っていませんか？
ミュートにチェックマークが付いていると、その項目の音は鳴りません。

**A** オーディオ出力端子にヘッドフォンを接続していませんか？

**A** 音量調整のできるアプリケーションで音量が下がっていませんか？

Windows Media Player

WinDVD

BeatJam XX-TREME

## Q カリカリカリ・・と音がする

**A** 電源が入っていると、作業をしていない状態でもハードディスクが自動的に動作するため、「カリカリ」というアクセス音が聞こえることがあります。これは故障ではありません。
ただし、異常な音が常時、聞こえるような場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

## Q マイク録音時の入力レベルが小さい

**A** 下記の手順に従って、録音レベルを調整してください。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
（「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）
2. [サウンドとオーディオデバイス]→[音量]をクリックして、「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックする。
3. [オプション]をクリックする。

4. [プロパティ]をクリックする。

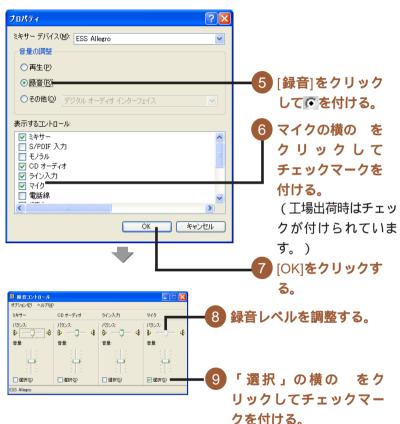
マイクは別売りです。

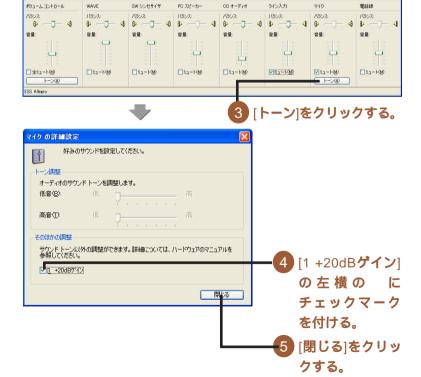
（次ページへ続く）

（つづき）

プロパティ
ミキサー デバイス(M): ESS Allegro
音量の調整
再生(P)
録音(R)
その他(O) デジタル オーディオ インターフェイス
表示するコントロール:
ミキサー
S/PDIF 入力
モノラル
CD オーディオ
ライン入力
マイク
電話線
OK
キャンセル
録音コントロール
オプション(P) ヘルプ(H)
ミキサー
CD オーディオ
ライン入力
マイク
バランス:
音量:
選択(S)
ESS Allegro
5 [録音]をクリックして◉を付ける。
6 マイクの横の□をクリックしてチェックマークを付ける。
（工場出荷時はチェックが付けられています。）
7 [OK]をクリックする。
8 録音レベルを調整する。
9 「選択」の横の□をクリックしてチェックマークを付ける。

（次ページへ続く）

（つづき）

**録音レベルを調整してもまだ入力レベルが小さい場合は、下記手順に従って操作してください。**

1. **[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。**
   **（「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）**
2. **[サウンドとオーディオデバイス]→[音量]をクリックして、「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックする。**
3. **[トーン]をクリックする。**
4. **[1 +20dBゲイン]の左横の□にチェックマークを付ける。**
5. **[閉じる]をクリックする。**

## Q 外部オーディオ機器に出力して録音した音声レベルが低い

**A** 「ボリュームコントロール」画面やアプリケーションの音量調整で音量を上げてください。
→78ページ「音量の調整のしかた」

## Q マイクを使うと“キーン”という音がする

**A** マイク（別売り）をスピーカーに近づけすぎていませんか？

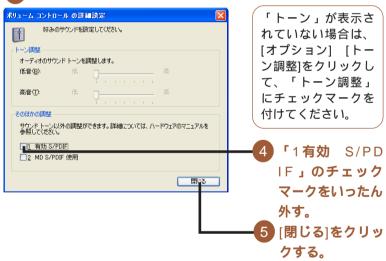
**A** 音量を適度に調整してください。
→78ページ「音量の調整のしかた」

**A** マイクの再生音をミュートしてください。
→81ページ「音の消しかた（ミュートのしかた）」

## Q 光デジタル音声出力端子から音が出ない

**A**

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]をクリックする。
   （「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」が表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）
2. [サウンドとオーディオデバイス]→[音量]をクリックして、「デバイスの音量」の[詳細設定]をクリックする。
3. 「ボリュームコントロール」の「トーン」をクリックする。

「トーン」が表示されていない場合は、[オプション]→[トーン調整]をクリックして、「トーン調整」にチェックマークを付けてください。

4. 「1有効　S/PDIF」のチェックマークをいったん外す。
5. [閉じる]をクリックする。
6. 再度「ボリュームコントロール」の「トーン」をクリックする。
7. 再び「1有効 S/PDIF」にチェックマークを付ける。
8. 「閉じる」をクリックする。

（次ページへ続く）

（つづき）

MDへの録音をしないときは、前ページの画面で[2 MD S/PDIF使用]のチェックマークを外してください。チェックマークがついていると、次のような音が光デジタル音声出力端子から出力されなくなります。
・音楽CD（アナログ再生に設定したとき）
（お買い上げ時はデジタル再生に設定されていますので問題ありません。）
・外部マイクの音
・LINE INから入力された音

## Q MD に録音できない

**A** パソコンとMDレコーダーのサンプリング周波数が違っている場合、録音することができません。このパソコンの光デジタル音声出力端子の光デジタル出力は、サンプリング周波数48 kHzです。サンプリング周波数48 kHzに対応したMDレコーダーをご使用ください。

**A** 光デジタル音声出力端子からの音が出ていないことが考えられます。
90ページ「光デジタル音声出力端子から音が出ない」の手順に従って操作してください。

## Q サウンドレコーダーできれいに録音できない

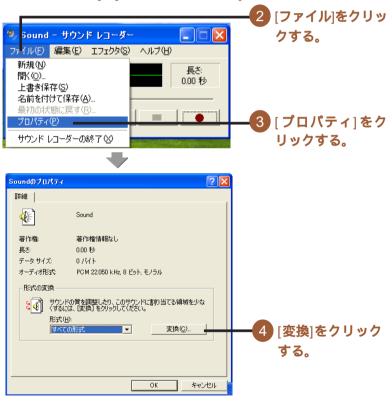
**A** 以下の設定で試してください。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンドレコーダー]をクリックする。
2. [ファイル]をクリックする。
3. [プロパティ]をクリックする。
4. [変換]をクリックする。

(次ページへ続く)

（つづき）

5 「属性」を「44.100 kHz、16ビット、モノラル 86 KB/秒」に設定する。

6 [OK]をクリックする。

上記設定を行うと音質は良くなりますが、ファイルサイズは大きくなります。

## Q ドライブの振動や動作音が大きい

**A** 変形したCDや、ラベルをはったCDを使用していませんか？

**Q** CD のデジタル再生時にノイズが発生したり音がとんだりする

**A** 音楽再生アプリケーションなど、その他の起動しているアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してみてください。

**A** Windows Media Playerで再生している場合、最小化ボタンをクリックして、キーボード上部の操作ボタンで再生してみてください。

操作ボタン

(次ページへ続く)

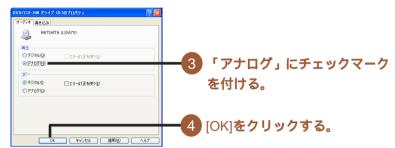
（つづき）

Windows Media Playerで再生している場合、以下の設定で再生してみてください。

1 Windows Media Playerの[ツール]→[オプション]→[デバイス]タブをクリックする。

2 「DVD/CD-RWドライブ」を選んで[プロパティ]をクリックする。

3 「アナログ」にチェックマークを付ける。

4 [OK]をクリックする。

5 [スタート]をクリックして、[マイコンピュータ]を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックし、「プロパティ」を選ぶ。

6 [ハードウェア]→[デバイスマネージャ]をクリックし、[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックする。

7 [MATSHITA UJDA＊＊＊]をダブルクリックし、[プロパティ]をクリックする。

＊＊＊には機種によって異なる数字が入ります。

8 「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽ＣＤを使用可能にする」のチェックマークを外す。

9 クリックする。

# 電源について

パソコンを使用するには、電源の供給が必要です。電源の供給のしかたには、次の２とおりがあります。

●ACアダプターを使って電源コンセントとパソコンをつなぐ。

ACアダプター接続ランプ（DC）が緑色に点灯します。

ACアダプターの接続のしかた→『はじめましてパソコン』「使う前の準備」

●充電されたバッテリーパックを取り付ける。

バッテリーパックの取り付けかた→100ページ「バッテリーパックの取り付け／取り外し」
バッテリー状態表示ランプ（▭）について→105ページ「バッテリー状態表示ランプの表示」

- バッテリーパックをパソコンに取り付けて、ACアダプターを接続すると、充電が自動的に行われます。→102ページ「バッテリーの充電のしかた」
  また、バッテリーパックは、一度取り付けると、メモリーの増設や長期間パソコンを使用しない場合など以外は、取り外す必要がありません。
- ACアダプターをつないでおけば、バッテリーパックが取り付けられていなくても、電源は供給されます。
- 充電されたバッテリーパックが取り付けられていると、ACアダプターがつながれていなくても、電源は供給されます。
- バッテリーパックだけで使用するときは、バッテリー残量にご注意ください。→104ページ「バッテリー残量の確認のしかた」

解説

# 電源コンセントのないところで長く使うコツ

できるだけ長く使うためにバッテリーパックをあらかじめ満充電にしておくことがポイントです。
下記の省電力機能を上手に利用しましょう。もちろんACアダプターを接続しているときでも省電力の効果があります。

- 使わないときは電源を切る。
- Fn+F1でディスプレイの明るさを調整（暗く）する。
- Fn+F7でスタンバイ状態、またはFn+F10で休止状態にしてから席を外す。

  操作を再開するときは、電源ボタンを押し、電源表示ランプ⏻が点灯したら手を離してください。
- 各種省電力機能を設定する。

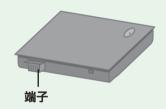
  「電源オプション」の省電力機能を使う。

  →109ページ「省電力機能の設定のしかた」

# バッテリーパック取り扱い上のお願い

## 安全上のご注意

『はじめましてパソコン』の「安全上のご注意」を必ずお読みください。

## 取り扱い上のお願い

・バッテリーパックをポケットやカバンに入れて持ち運ぶときは、端子部分がショートするのを防ぐために、ビニール袋に入れることをおすすめします。
・水などで濡らさないでください。端子がさびる原因となります。
・端子部分には触れないでください。端子が汚れると、接触が悪くなったり十分に充電できなかったりすることがあります。
・万一、破損によって電解液が流出し、皮膚や衣服についた場合は、直ちに大量の水で洗い流してください。もし、身体に異常を感じた場合は、医師にご相談ください。

## 使用温度についての留意点

・使用環境温度5℃～35℃の範囲で操作してください。
使用環境温度が低い場合、バッテリーの稼働時間が短くなります。
・通常の使用時にあたたかくなることがありますが、異常ではありません。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 充電についてのお願い

- 長期間（約1か月以上）使わない場合は、バッテリーパックの性能維持のため、30 % ～ 40 %程度の充電状態でパソコンから取り外し、冷暗所に保管してください。
- バッテリーパックを長期間放置していた場合は、使用前に必ず充電してください。この場合、通常の時間で充電が終了しないことがありますが、故障ではありません。
- 本機では過充電を防ぐため、一度、100 %になった後は、満充電に近い状態では再充電できないようになっています。電池残量が90 %前後になるまで放電してから充電するようにしてください。
- バッテリーパックは消耗品です。バッテリーの駆動時間が著しく短くなり、充電を何度繰り返しても性能が回復しない場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいものと交換してください。
- 使用環境温度（5 ℃～35 ℃）の範囲内で充電してください。使用環境温度の範囲外では、また、使用環境温度の範囲内であっても、使用条件によりバッテリーパックの温度が高温あるいは低温になりすぎているときには、充電できないことがあります。この場合、室温を調節したり、しばらくパソコンの使用を控えるなどしてください。バッテリーパックの温度が範囲内に戻ると、自動的に充電が始まります。
- 満充電に近い状態で充電が行われていないときは、バッテリーパックから微量の電流が放電されます。このため、電池残量が多少減っていることがあります。

（次ページへ続く）

（つづき）

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先

・お買い上げの販売店、または最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
　詳しくは、社団法人電池工業会にご確認ください。
　電話：03-3434-0261
　ホームページ：http://www.baj.or.jp/
　（2001年10月1日現在）

## バッテリーパックの取り付け／取り外し

本機で使用できるバッテリーパックは、付属のバッテリーパックと以下の別売りのバッテリーパックです。
別売りバッテリーパック：品番 CF-VZSU23J（付属品と同等）

**お願い** 指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。

（次ページへ続く）

（つづき）

1 操作を終わり、電源が切れたことを確認してACアダプターおよび周辺機器を取り外す。

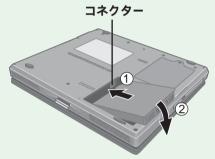
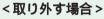
2 本体を裏返す。

3 バッテリーパックを取り付ける／取り外す。

＜取り付ける場合＞

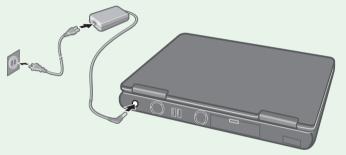
図のように、コネクターの位置をあわせて挿入する。

＜取り外す場合＞

解説

# バッテリーの充電のしかた

付属のバッテリーパックは、工場出荷時には充電されていません。
パソコン本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

## 1 ACアダプターを接続する。

ACアダプター接続ランプ（DC）が緑色に点灯し、その後バッテリー状態表示ランプ（▭）が緑色に点灯します。

ACアダプターを接続するときは、①→②→③の手順で行ってください。取り外す場合は、③→②→①の手順で行ってください。

## 2 充電状態を確認する。

充電が完了すると、バッテリー状態表示ランプが消灯します。

充電途中で、ACアダプターを抜いて、パソコンを使用しても問題ありません。
→104ページ「バッテリー残量の確認のしかた」

解説

# バッテリーの駆動時間と充電時間

## バッテリーだけで動作する時間（駆動時間）

| CF-X10R | CF-X10V |
|---|---|
| 約2.0時間<br>（約2.1時間） | 約1.6時間<br>（約1.8時間） |

上記は、次の条件での駆動時間です。（駆動時間はその他使用条件によっても異なります。）

- ディスプレイの輝度を Fn を押しながら F1 を押して最低にする。
- ドライブを動作させない。
- 音声や映像を再生させない。

（　）内は、JEITA測定法1.0に基づく表記です。

## 残量がない状態で満充電になるまでの充電時間

約３時間

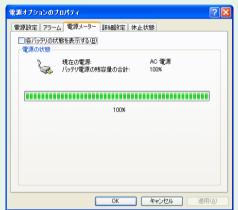
充電時間は、パソコンの動作状態や環境温度によって変わります。また、バッテリーパックが使用環境温度の範囲外になった場合などには、充電が中断されることがあります。（→105ページ「バッテリー状態表示ランプの表示」）

電源が切れている状態でも、約15 mWの電力を消費します。バッテリーパックのみで使用している場合、満充電の状態でも約90日でバッテリー残量がなくなります。

# バッテリー残量の確認のしかた

バッテリーのみで使用することが多い場合、こまめに残量確認するようにしてください。バッテリー残量が少なくなったら、ACアダプターを接続してください。

## 電源メーターによる残量確認

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。
（「パフォーマンスとメンテナンス」アイコンが表示されていない場合は、「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。）

2 [電源オプション]をクリックし、[電源メーター]をクリックする。

数値と、実際の残量は多少異なる場合があります。

# バッテリー状態表示ランプの表示

| バッテリー状態表示ランプの状態 | 充電状態 |
|---|---|
| 緑色に点灯 | 充電中 |
| 消灯 | 充電していない状態<br>次のいずれかの場合が考えられます。<br>・満充電のため<br>・満充電に近い状態となっているため、再充電を行うことができません。（→115ページ「バッテリー残量が100%（満充電）にならない」）<br>・バッテリーパックが正しく装着されていません。<br>・ACアダプターが正しく接続されていません。 |
| 緑色に点滅（ACアダプター接続時） | 充電できない（0.5秒間隔で点滅）<br>バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。再度正しく装着し直してください。それでも状態が変わらないようであれば、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。 |

（次ページへ続く）

（つづき）

| バッテリー状態表示ランプの状態 | 充電状態 |
|---|---|
| 緑色に点滅<br>（ACアダプター未接続時） | バッテリー残量10%以下(1秒間隔で点滅)<br>充電が必要です。すぐにACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプ⏻が消えていることを確認してください。<br>充電せずに電源を入れたままにしておくと、休止状態などに入ります。（「電源オプション」の「アラーム」の設定により、動作は異なります。→107ページ「バッテリー残量がわずかになったら」）<br>バッテリー残量4%以下（0.5秒間隔で点滅）<br>自動的にパソコンの電源が切れます。 |

# バッテリー残量がわずかになったら

## 工場出荷時のアラームの設定

**残量が10%になったら（「バッテリ低下アラーム」）**

- 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。

充電が必要です。
すぐにACアダプターを接続してください。ACアダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windowsも終了して電源表示ランプ⏻が消えていることを確認してください。

**残量が7%になったら（「バッテリ切れアラーム」）**

- 休止状態になります。

次回、起動するときはACアダプターを接続してください。
ACアダプターを接続しないで電源を入れるとWindowsが正常に起動しなかったり、以降アラーム機能が正常に動作しない場合があります。

（次ページへ続く）

（つづき）

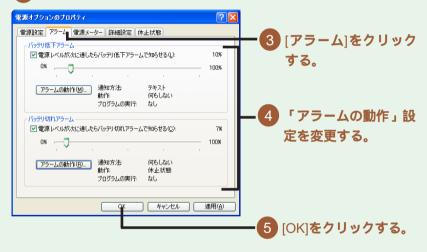
## アラームの設定の変更のしかた

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。
（「パフォーマンスとメンテナンス」アイコンが表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）

2 「電源オプション」をクリックする。

3 [アラーム]をクリックする。

4 「アラームの動作」設定を変更する。

5 [OK]をクリックする。

# バッテリーを長くもたせるには

→97ページ「電源コンセントのないところで長く使うコツ」をご覧ください。

# 省電力機能の設定のしかた

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする。

（「パフォーマンスとメンテナンス」アイコンが表示されていない場合、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックする。）

2. [電源オプション]をクリックする。

3. [電源設定]をクリックする。

バッテリーパックでのみ使用するときは「ポータブル/ラップトップ」、ACアダプターで使用するときは「自宅または会社のデスク」に設定してください。

「ポータブル/ラップトップ」や「自宅または会社のデスク」の設定を個別に行うこともできます。

（次ページへ続く）

（つづき）

<モニタの電源を切る>
パソコンを放置してから、設定した時間後に、ディスプレイの電源を切ります。ディスプレイの電源を入れるときは、キーボードやトラックボールを操作してください。

<ハードディスクの電源を切る>
パソコンを放置してから（ハードディスクへのアクセスがなくなってから）、設定した時間後に*、ハードディスクの電源を切ります。ハードディスクの電源を入れるときは、ハードディスクへのアクセスが必要です。

* 設定した時間が経過してもハードディスクの電源が切れない場合、Windowsにより自動的にハードディスクへのアクセスが発生したと考えられます。

<システムスタンバイ>
パソコンを放置してから、設定した時間後に、使用中の画面やファイルをメモリー内に保存し、メモリー以外のすべての電源を切ります。操作を再開するときは、電源ボタンを押してください。

<システム休止状態>
パソコンを放置してから、設定した時間後に、使用中の画面やファイルをハードディスク内に保存し、すべての電源を切ります。操作を再開するときは、電源ボタンを押してください。

「電源設定」の工場出荷時の設定は以下のとおりです。

・「ポータブル／ラップトップ」

| 項目 | 電源に接続 | バッテリ使用 |
|---|---|---|
| モニタの電源を切る | 15分後 | 3分後 |
| ハードディスクの電源を切る | 30分後 | 10分後 |
| システムスタンバイ | なし | 5分後 |
| システム休止状態 | なし | 15分後 |

# スタンバイ・休止状態・リジュームについて

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使って終了すると、アプリケーションを終了することなく、電源を切ることができます。電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションやファイル）が画面に表示される（これを「リジューム」という）ので、すぐに操作を始めることができます。

＜スタンバイと休止状態の違い＞

| | 状態の保存先 | 立ち上がり速度 | 電源の供給 |
|---|---|---|---|
| スタンバイ | メモリー | 速い | 必要* |
| 休止状態 | ハードディスク | やや遅い | 不要 |

* スタンバイ時には、約660 mWの電力を消費します。また、満充電していても約2日でバッテリー残量がなくなります。長時間スタンバイ機能を使う場合はACアダプターを接続しておいてください。

# スタンバイや休止状態への入りかた

**お願い** 「スタンバイ」や「休止状態」機能を使う前に、必要なデータは保存してください。

## スタンバイへの入りかた

- Fn+F7を押す。
- [スタート]→[終了オプション]をクリックして「スタンバイ」を選ぶ。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 休止状態への入りかた

- Fn+F10を押す。
- [スタート]→[終了オプション]クリックして、Shiftを押しながら「スタンバイ」を選ぶ。
  （[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]の「休止状態」タブで「休止状態を有効にする」にチェックマークが付いていない場合は、スタンバイに入ります。工場出荷状態では、チェックマークが付いています。）

●以下の場合は、スタンバイや休止状態に入らないでください。（「システムスタンバイ」や「システム休止状態」を含む）→109ページ「省電力機能の設定のしかた」
これらの機能や周辺機器およびWindowsが正常に動作しない場合があります。

- データの転送中・オーディオの録音および再生中
- PCカード（SCSI・ATAカード）などの周辺機器の使用中または接続時
- フロッピーディスクドライブ・ハードディスクドライブ・ドライブの使用中
- 一部のUSB機器の使用中または接続時

上記周辺機器にアクセスするようなアプリケーションは終了してください。

●「スタンバイ」や「休止状態」の処理中およびリジューム時にしてはいけないこと

- 処理中（スタンバイ時は電源表示ランプが緑色点滅するまで、休止状態時は消灯するまで）はキーボード、トラックボールなどを操作しないでください。リジューム後、それらのデバイスが操作できなくなることがあります。その場合、本体を再起動してください。
- リジューム時は、Windowsが完全に起動するまで、キーボード、トラックボールなどを操作しないでください。

●「スタンバイ」や「休止状態」中にしてはいけないこと
PCカード、SDメモリーカード、マルチメディアカードの取り付け・取り外しをしないでください。

# スタンバイや休止状態からの復帰（リジューム）のしかた

1. 電源表示ランプが緑色点滅または消灯していることを確認する。

2. 電源ボタンを押し、電源表示ランプが点灯したら手を離す。
   電源を切る前に使用していたアプリケーションやファイルが画面に表示されます。このようにスタンバイや休止状態から、電源を入れたときに元の状態に戻ることを「リジューム」と呼びます。

電源表示ランプが点灯しているのに画面に何も表示されていない場合は、ディスプレイの電源のみが切れていることが考えられます。その場合は、Ctrlなど操作に影響のないキーを押してください。

## Q 自動的に電源が切れてしまう

**A**

<電源表示ランプが緑色点滅している場合>
省電力機能が働いてスタンバイに入っていることが考えられます。
<電源表示ランプが消灯している場合>
省電力機能が働いて休止状態になっていることが考えられます。

どちらの場合も、電源ボタンを押してください。

**A**

バッテリー状態表示ランプが緑色に点滅している場合は、バッテリー残量がないことが考えられます。ACアダプターを接続してください。

## Q バッテリー残量が100%(満充電)にならない

**A** 過充電を防ぐため、満充電に近い状態では再充電できないようになっています。電池残量が90%前後になるまでACアダプターを取り外して使ってください。その後、再度ACアダプターを接続して充電してください。

## Q バッテリー残量表示がおかしい

**A** 使用条件により、残量表示が不正確になることがあります。満充電→完全放電→満充電の操作を2、3回行うことにより、ほぼ正確に残量表示されるようになります。この操作を何度か行っても状態が改善されない場合は、バッテリーパックの寿命ということが考えられます。

## Q バッテリーの駆動時間が短い

**A** バッテリーを完全に使い切らない状態で充電を繰り返すと、バッテリー容量が正しく計測されなくなり、駆動時間が短くなる場合があります。満充電→完全放電→満充電の操作を2、3回行うことにより、ほぼ正確に残量表示されるようになります。この操作を何度か行っても状態が改善されない場合は、バッテリーパックの寿命ということが考えられます。

## Q スタンバイや休止状態に入れない

**A** Windows以外のオペレーティングシステム（OS）ではディスプレイの電源が正常に復帰しなかったり、スタンバイや休止状態に入れないことがあります。また、MS-DOSの起動ディスクなどを使ってパソコンを起動している場合には、休止状態は使用できません。

**A** 常駐プログラムがある場合やスクリーンセーバーの実行中は、スタンバイや休止状態に入れないことがあります。

## Q スタンバイや休止状態から復帰（リジューム）しない

**A** 「よくあるパニック」の「スタンバイや休止状態から復帰（リジューム）しない」をご覧ください。（→33ページ）

# フロッピーディスクについて

●フロッピーディスクドライブのドライブアクセスランプが点灯中に、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。
フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションが使えなくなることがあります。

●一度使用したフロッピーディスクをフォーマット（初期化）する場合はその前に内容を確認する。
フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。

●書き込み禁止タブ（ライトプロテクトタブ）を使う。
重要なデータを保存している場合におすすめします。
これにより、データの削除や上書き保存を禁止することができます。

（次ページへ続く）

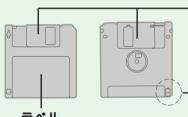
（つづき）

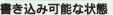
●フロッピーディスクの取り扱いに注意する。

データの破損やフロッピーディスクが取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。

- シャッターを手で開けない
- 磁気を帯びたものを近づけない
- 高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
- ラベルを重ねて貼らない

シャッター
ドライブにセットするとシャッターが開き、ここからデータの読み書きを行います。

ライトプロテクトタブ
データを誤って消したり、書き換えたりするのを防ぐために使用します。

ラベル
保存しているデータの内容などを書いておくと便利です。

書き込み可能な状態

書き込み禁止の状態

# フロッピーディスクドライブの使いかた

フロッピーディスクドライブは「マイコンピュータ」に「3.5インチFD（A:）」と表示されます。

## フロッピーディスクのセット／取り出し

**<フロッピーディスクをセットする>**

フロッピーディスク取り出しボタンが飛び出すまで、確実に挿入する。

**<フロッピーディスクを取り出す>**

ドライブアクセスランプが点灯していないことを確認した後、取り出しボタンを押す。（→117ページ）

**お願い**

- ドライブアクセスランプ点灯中はフロッピーディスクを取り出したりしないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れる恐れがあります。
- パソコンを持ち運ぶときや保管しておくときには、必ず、フロッピーディスクは取り出してください。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 使用できるフロッピーディスクの種類と記録容量

フロッピーディスクには「2HD」（1.44 Mバイト/1.2 Mバイト）と「2DD」（720 Kバイト）の２種類があります。
本機では、2HD(1.44 Mバイト)、2HD(1.2 Mバイト*)、2DD(720 Kバイト)のディスクの読み書きが可能です。ただし、フォーマットは、2HD(1.44 Mバイト)のディスクのみ可能です。

* 別途、ドライバーのインストールが必要です。詳しくは、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Panasonic]→[オンラインマニュアル]→[補足説明]をご覧ください。

| | |
|---|---|
| 読み出し | ：フロッピーディスクのデータを本体のメモリー上に送ることを「読み出し」といいます。 |
| 書き込み | ：メモリー上のデータをフロッピーディスクに送り、記録することを「書き込み」といいます。 |
| 初期化(フォーマット) | ：新しいディスクを磁気的に区画整理する作業をいいます。 |

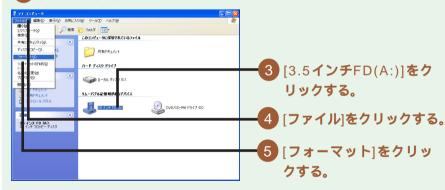
# フロッピーディスクの初期化（フォーマット）

**お願い** 初期化は新しいディスクを磁気的に区画整理する作業で、そのフロッピーディスクを使い始める前に1回だけ行います。初期化を行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認してください。

1 フロッピーディスクを挿入する。

2 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックする。

3 [3.5インチFD(A:)]をクリックする。

4 [ファイル]をクリックする。

5 [フォーマット]をクリックする。

「クイックフォーマット」は、通常のフォーマットのように磁気的な区画整理は行われないため、一度も通常フォーマットをしていないフロッピーディスクに対しては行うことができません。Windows XPでフォーマット済みのフロッピーディスク内のデータを一度に消したい場合に便利です。

6 [開始]をクリックし、確認して[OK]をクリックする。

（次ページへ続く）

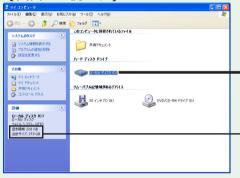
（つづき）

**本機でフォーマットできるディスク**

**本機では、2HD(1.44 Mバイト)のディスクのみフォーマットすることができます。2HD(1.2 Mバイト)と2DD (720 Kバイト)のディスクはフォーマットすることができません。**

# ハードディスクの空き容量の調べかた

1 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックする。

（画面は一例です）

2 [ローカルディスク(C:)]をクリックする。

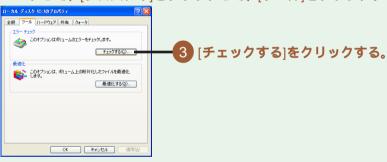
カタログなどに記載されている容量と異なる場合がありますが、換算方法の違いによるもので故障ではありません。

# ハードディスクドライブの状態の調べかた（良好な状態にする方法）

## エラーチェック

ハードディスクのエラーを調査・修復することができます。
実行の前に起動中のアプリケーションや常駐プログラムをすべて終了してください。エラーチェックは完了するまで多少時間がかかります。

1 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックする。

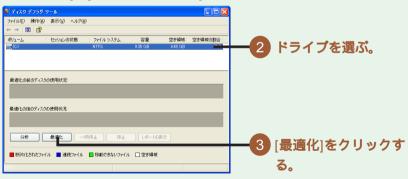
2 [ローカルディスク(C:)]を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックして、[プロパティ]をクリックして、[ツール]をクリックする。

4 必要に応じてチェックマークを付ける。

- エラーチェックには多少時間がかかります。また、開始すると、途中でキャンセルすることができません。
- 「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」にチェックマークを付けて、[開始]をクリックすると、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、次回、Windowsの再起動時に自動的にファイルシステムエラーの修復が実行されます。

以降、画面に従って操作してください。 （次ページへ続く）

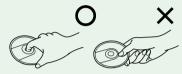
## ディスクデフラグ

パソコンを使っていくうちにハードディスクのデータの並び方が「虫食い状態」になっていきます。これを改善し、データを連続した状態にすることにより、データへのアクセスが速くなり、ハードディスクを良好な状態にすることができます。
ディスクデフラグを使うとデータアクセスや、アプリケーションの起動を高速にすることができます。
実行の前に起動中のアプリケーションや常駐プログラムをすべて終了してください。
また、ドライブにエラーがあるとデフラグを正常に実行することができません。あらかじめ「エラーチェック」（→前ページ）でドライブにエラーがないか調査してください。
ディスクデフラグは完了するまで多少時間がかかります。

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[ディスクデフラグ]をクリックする。

以降、画面に従って操作してください。

# CD/DVD および  ドライブの取り扱い上のお願い

## CD/DVD の取り扱い上のお願い

- 持つときは、下図のように持ってください。

- 汚したり、傷つけたりしないでください。
- ゴミやほこりの多い場所、温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ラベル面に紙などを貼らないでください。
- 落としたり、曲げたり、重い物をのせないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。（結露が生じます。）急に暖かい室内に持ち込んだときなどに露がついたら、乾いた柔らかい布でふいてください。
- ディスクの汚れや損傷の原因になりますので、再生面（タイトルのない面）に触れないでください。

**汚れをとるには**
柔らかい乾いた布で、中心から外の方向へ軽くふきます。

- 2～3か月に1回程度、ディスクのクリーニングをしてください。クリーニングには、CDディスククリーナーを使用してください。
- CD-RやCD-RW、DVDは、包装に記載されている内容をよくお読みください。

（次ページへ続く）

（つづき）

- CD-RやCD-RWは、当社の推奨するディスクをご使用ください。
  <推奨ディスク>

| | |
|---|---|
| CD-R | ：太陽誘電㈱製、三井化学㈱製<br>三菱化学㈱製、㈱リコー製<br>日立マクセル㈱製 |
| CD-RW | ：三菱化学㈱製、㈱リコー製 |
| High Speed CD-RW | ：三菱化学㈱製、㈱リコー製 |

## ドライブ取り扱い上のお願い

- トレイにディスク以外のものを載せないでください。
- トレイを開けたままで放置したり、レンズ部分に触れたりしないでください。
- トレイが開いているときに、トレイに無理な力をかけないでください。
- トレイを閉じた後、約10秒間はドライブにアクセスしないでください。
- アクセスランプの点灯中は、次のことに注意してください。
  - パソコンを動かさない。
  - 電源を切ったり、スタンバイや休止状態にしない。
  - ディスク取り出しボタンに触れない。
- 油煙やたばこの煙の多いところでは使用しないでください。
- ドライブのすき間部分にゼムクリップなどの異物が入らないようにしてください。
- ドライブのクリーニングにはCDレンズクリーナー(クリーニング液を使用するものを除く)を使用してください。

解説

# ドライブの使いかた

1 本体の電源が入っていることを確認し、ディスク取り出しボタンを軽く押す。

本体の電源が入っていないときは、(CD)を押して、CDプレーヤーの電源を入れた後、(■/≜)を押して、取り出すこともできます。

**お願い** アクセスランプ点灯中は、トレイを開けないでください。
アプリケーションが入ったディスクの場合は、アプリケーションを起動した後、そのアプリケーションを終了するまでトレイを開けないでください。

2 トレイを手でゆっくり引き出す。

（次ページへ続く）

（つづき）

### 3 ディスクをセットする/取り出す。

**トレイが引き出せないときは**

電源を切った状態で、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んでトレイを引き出してください。

### 4 手でトレイを閉じる。

解説

# CD-R・CD-RWについて

一言でいうと書き込みができるCDのことです。
本機は、CD-R/RWドライブを内蔵していますので、CD-RおよびCD-RWのどちらのCDにも書き込みすることができます。
CD-Rには、一度だけ書き込むことができます。CD-RWは、一度書き込んだデータを消去して、何度でも書き換えることができます。

## CD-Rはこんなときに使う

- 上書きしたくない大切なファイルをバックアップするとき
- WAVEファイルなどを音楽CDフォーマットで保存したいとき
- 音楽CDを複製したいとき
- 配布用CDとして使うとき

→『活用例集』「著作権について」

## CD-RWはこんなときに使う

ファイルの更新が必要なデータをバックアップするとき

一般的にCD-RWに音楽CDを複製しても、コンポやカーオーディオなどのCDプレーヤーでは再生できません。また、データの受け渡し用にCD-RWを使用しても、他のパソコンではCD-RWにアクセスできない場合があります。

（次ページへ続く）

## 書き込める容量

**一般的に約650 Mバイト*で、音楽CDの場合、約74分収録できます。**

* ただし、実際はフォーマットした段階でいくつかの領域をシステムが消費するため空き領域で表示される値は少なく表示されます。

## DVD について

DVDはCDと同じような直径8cmまたは12cmの円盤状の記録メディアで、容量が大きいため映像の記録用として利用されています。DVD-ROMは読み取り専用、DVD-RとDVD-RAMは読み取りと書き込みが可能です。ただし、DVD-Rは書き込んだ内容に上書きすることができません。「DVDビデオレコーディング規格」に準拠して記録されたDVD-RAMは、パソコン上で再生・編集が可能です。（ただし、編集するにはDVD-RAMドライブと専用のソフトが必要です。）

**本機では、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RAM*の再生が可能です。編集はできません。**

* UDF2.0形式でフォーマットされた、4.7Gバイトまたは9.4Gバイト両面タイプのDVD-RAMディスク（カートリッジから取り出せるタイプ）です。

# 使用できるCDやDVDの種類

本機で使用できるCDやDVDは以下のとおりです。

●音楽CD

市販の音楽CDを再生できます。Windowsが起動されていなくても、操作ボタンを使用して再生することができます。

●DVDビデオ

市販のDVDビデオ（8cm、12cm）を再生できます。アプリケーションはWinDVDを使用します。

→ 『活用例集』「DVDビデオを再生」

●DVD-R/DVD-RAM

デジタルビデオカメラで撮影した映像などを保存した、DVD-RやDVD-RAMを再生することができます。アプリケーションはWinDVDを使用します。

→『活用例集』「DVD-RAMディスクを再生」

●ビデオCD

市販のビデオCDを再生できます。アプリケーションはWinDVDを使用します。

●CD-ROM

CD-ROMを再生できます。CD-ROMの内容によって、Windows Media Player、WinDVDなど、アプリケーションを使い分けてください。

●CD-R/CD-RW

High Speed CD-RWにも対応しています。

再生と書き込みの両方ができます。用途によって、B's Recorder GOLD、WindowsのCDコピー機能など使用ソフトを使い分けてください。

解説

# CD-R または CD-RW への書き込みエラーの防ぎかた

本機は、バッファアンダーランエラー防止機能を備えていますが、「書き込んだはずのCD-R/RWが読めない」ということのないように、書き込みソフトB's Recorder GOLDなどを起動する前に、できるだけ、次のことを実行しておいてください。

●必要のないアプリケーションはすべて終了する。
●指定の時間になると起動するプログラムや常駐プログラムはすべて終了する。
●コントロールパネルの「電源オプション」→「電源設定」で、「モニタの電源を切る」「ハードディスクの電源を切る」「システムスタンバイ」「システム休止状態」をすべて「なし」に設定する。
（→109ページ「省電力機能の設定のしかた」）
●スクリーンセーバーを設定している場合、データの転送が中断されないように、解除する。
（デスクトップの背景部分にポインター（矢印）を移動して、下ボタン（マウスの右ボタン）を押して[プロパティ]をクリックし、「スクリーンセーバー」を「なし」に設定します。）
●パソコンを再起動する。
●Microsoft® Office XP Personalの再インストール時には、下記のアプリケーションを「インストールしない」に設定する。（工場出荷時は「インストールしない」設定になっています。）
→192ページ「買ったときの状態（工場出荷状態）に戻すには」
・「Microsoft Excel for Windows」の中の「読み上げ」
・「Office共有機能」の中の「入力システムの拡張」の「音声」

お願い

**複製について**

・映像・音楽などの著作物の複製は、個人的または家庭内で使用する以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
・DVDビデオは、コピーガードされているため、複製することができません。

## Q フロッピーディスクにアクセスできない

**A** フロッピーディスクが正しくセットされているか確認してください。
→119ページ「フロッピーディスクドライブの使いかた」

**A** フロッピーディスクが初期化されているか確認してください。
→121ページ「フロッピーディスクの初期化（フォーマット）」

**A** ライトプロテクトタブが書き込み禁止の状態になっていないか確認してください。
→117ページ「フロッピーディスクについて」

## Q ハードディスクドライブの空き容量が少なくなった

**A** 自分で作成した不必要なファイルを削除してください。
アプリケーションやシステムに関連するファイルを削除すると正常に動作しなくなることがありますので、注意してください。

**A** ごみ箱を空にしてください。
ファイルを削除しても「ごみ箱」を空にするまではハードディスクの空き容量は増えません。

1. デスクトップの「ごみ箱」を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックする。
2. 「ごみ箱を空にする」をクリックする。

**A** 使わないアプリケーションを削除（アンインストール）してください。
→153ページ「アプリケーションの削除のしかた」

**A** 「ディスククリーンアップ」を実行してください。
不必要なファイルを自動検出し削除するプログラムです。起動中のアプリケーションは終了してください。

1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[ディスククリーンアップ]をクリックする。

2. 削除するファイルにチェックマークを付ける。
3. [OK]をクリックする。

以降、画面に従って操作してください。

## Q CDやDVDを挿入しても自動再生が始まらない

**A** CDやDVDによっては、自動的に再生が始まらないものもあります。
[スタート]→[すべてのプログラム]からWindows Media PlayerやWinDVDなど使用するアプリケーションを起動した後、アプリケーションから再生を開始してください。

## Q 作成した音楽CDがパソコンでしか再生できない

**A** 音楽CDを作成する場合、CD-Rを使用してください。CD-RWで作成した場合は、CD-RWに対応したパソコンでしか再生することができません。

BeatJam XX-TREMEを使って音楽CDを作成した場合、WAVE形式の曲だけが保存されます。WMA形式の曲が含まれていても書き込みの対象にはなりません。→『活用例集』「オリジナル音楽CD・MDを作成」

## Q CD や DVD が取り出せない

**A** 通常はCD-ROMと同じように取り出しボタンで取り出せます。

どうしてもトレイが引き出せないときは電源を切った状態で、ゼムクリップを引き伸ばしたものなどをエマージェンシーホールに差し込んでトレイを引き出してください。

エマージェンシーホール

## Q 操作ボタンのTRACK番号表示に「SP」と表示される

**A** パソコンの電源が切れた状態でCDを押すと、CDプレーヤーが使用できる状態になります。この状態で2分間何も操作しないでいると、ドライブの電力消費を抑えるモード（スリープモード）になり、TRACK番号表示には「SP」と表示されます。スリープモードからさらに2分間何も操作しない状態が続くと、ドライブとスピーカーの電源が切れた状態（サスペンドモード）になります。このときも、TRACK番号表示には「SP」と表示されたままです。
スリープモードやサスペンドモードから復帰するには、►/II、■/≜、►►I、I◄◄のいずれかを押してください。

## Q CDプレーヤーの操作ボタンを押しても、動作しない

**A** TRACK番号表示に「SP」と表示されている場合、CDプレーヤーがスリープモードまたはサスペンドモードに入っています。
（→上記「操作ボタンのTRACK番号表示に「SP」と表示される」）
►/II、■/≜、►►I、I◄◄のいずれかを押して、スリープモードまたはサスペンドモードから復帰した後、もう一度、操作の対象となるCDプレーヤーの操作ボタンを押してください。

## Q ディスクや機器（デバイス）をセットすると、実行する動作を選ぶ画面が表示される

実行する動作を選んで[OK]をクリックすると、次回セット時には、ここで選択した動作が自動的に実行されます。（動作を選択したものと同じ種類のデータが入っていない場合は、実行されません。）
一度、設定した動作を変更するには、[スタート]→[マイコンピュータ]で、そのディスクやデバイスをクリックした後、[ファイル]→[プロパティ]→[自動再生]をクリックしてください。

# ファイルやフォルダーの名前の変えかた

1 名前を変えたいファイルやフォルダーを下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックする。

2 [名前の変更]をクリックする。

3 新しい名前を入力し、Enter を押す。

ただし、¥/:＊?"<>| などの文字はファイル名に使えません。

解説

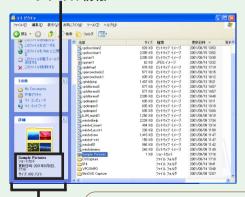
# ファイルの拡張子や作成日時の調べかた

1 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックして、「ツール」メニューの「フォルダオプション」をクリックする。

2 [フォルダに共通の作業を表示する]にチェックマークを付ける。
（工場出荷時はチェックマークが付けられています。）

3 [OK]をクリックする。

4 確認したいファイルをクリックして、「詳細」の をクリックする。

ファイル情報

**ファイルの拡張子を表示するには**

手順❶の操作のあと、[表示]をクリックし、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックマークを外してください。

ウィンドウのサイズが小さい場合、上記❶～❸を行ってもこの部分が表示されないことがあります。その場合は、ウィンドウを大きくしてください。

# ファイルの圧縮のしかた

## ZIP 形式に圧縮する方法

「圧縮フォルダ」を作成し、その中にファイルを追加することで圧縮することができます。

**1** [ファイル]をクリックする。

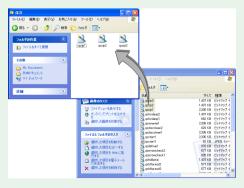
**2** [新規作成]→[圧縮zip形式フォルダ]をクリックする。

圧縮フォルダが作成されます。

**3** 圧縮フォルダ名を入力する。

ここでは例として、「保存」という名前にします。

**4** 作成した圧縮フォルダをダブルクリックする。

作成した圧縮フォルダのウィンドウが開きます。

**5** 圧縮するファイルを圧縮フォルダにドラッグする。

複数のファイルをドラッグしたり、後からファイルを追加したりすることもできます。

（次ページへ続く）

## パスワードの設定

「圧縮フォルダ」にパスワードを設定することができます。（暗号化）

1 [圧縮フォルダ]アイコンをダブルクリックして、フォルダーを開いておく。

2 [ファイル]をクリックする。

3 [パスワードの追加]をクリックする。

4 パスワードを入力する。

5 同じパスワードを再度入力する。

6 [OK]をクリックする。

**お願い** パスワードを設定した場合、パスワードを入力しないとファイルを開くことができません。
パスワードは忘れないようにしてください。忘れたパスワードを解除する方法はありません。

**パスワードの解除**
①[圧縮フォルダ]をダブルクリックする。
②「圧縮フォルダ」のウィンドウで、[ファイル]→[暗号化解除]をクリックする。
③解除したいパスワードを入力する。

解説

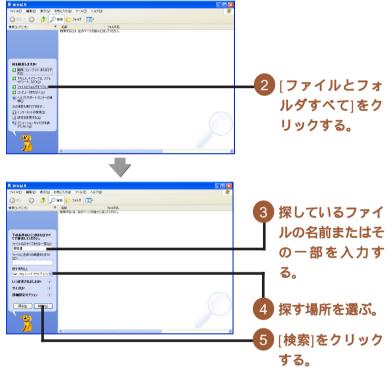
# パソコンでワープロの文書を読むには

**＜ワープロのDOS変換機能を使用する＞**

ワープロ側で、DOS変換機能を使用してDOC形式またはTXT形式で保存してください。DOC形式またはTXT形式で保存された文書は、パソコンのMicrosoft® Wordで開くことができます。また、TXT形式の文書は、パソコンの「メモ帳」でも開くことができます。

**＜市販の変換ソフトを使用する＞**

市販の変換ソフトをパソコンにインストールしておくと、ワープロの文書をパソコンで読めるように変換することができます。Windows XPとお使いのワープロに対応した変換ソフトがあるか、パソコンショップでご相談ください。

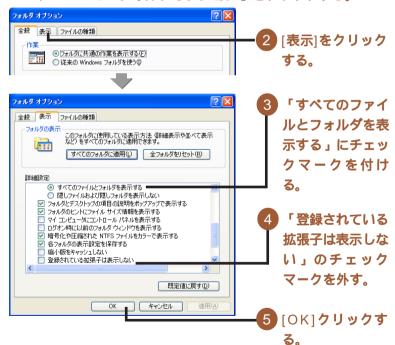
# Q ファイルやフォルダーが見つからない

探す場所が思い出せない場合は、(C:)などできるだけ広い範囲で検索してください。また、いつ変更（作成）したか、ファイルサイズはいくらぐらいかなどの情報をもとに検索することもできます。

（次ページへ続く）

（つづき）

**非表示に設定されているシステムファイルを表示するとき**

DLLやSYSなどの拡張子を持つシステムファイルなど「フォルダオプション」の設定によっては、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されない場合があります。表示するには以下の手順に従ってください。

1 「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「ツール」メニューの「フォルダオプション」をクリックする。

## Q ファイルを保存せずに終了してしまった

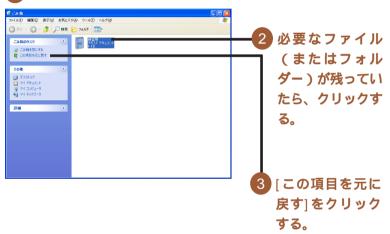
**A** アプリケーションによっては、一定時間ごとにバックアップ（自動保存）し、ある時間までの編集内容は保存されていることもあります。
また、多くの場合、ファイルを保存しないで終了しようとすると、確認のメッセージが表示されます。
しかし、保存を忘れたファイルは基本的に消えてしまうことを前提にこまめに保存するようにしてください。

# Q ファイルやフォルダーを誤って削除してしまった

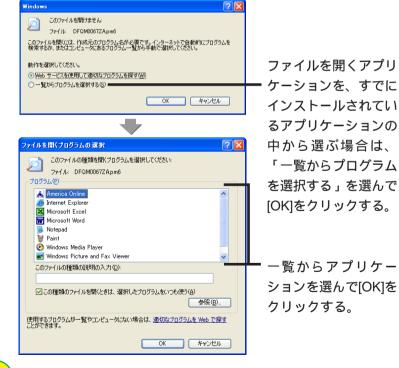
**A 削除しても、まだごみ箱に残っている場合があります。**

1 デスクトップの「ごみ箱」をダブルクリックする。

2 必要なファイル（またはフォルダー）が残っていたら、クリックする。

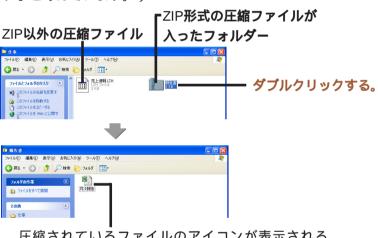
3 [この項目を元に戻す]をクリックする。

ごみ箱に残っていない場合、削除したファイルを元に戻すことはできません。

## Q ファイルを開くことができない

**A** ファイルに対応したアプリケーションが正常に動作していますか？アンインストールなどをしていませんか？
また、アプリケーションがあってもバージョンが古い場合、新しいバージョンで作られたファイルを開くことができないことがあります。
ファイルをダブルクリックしたとき、次のような画面が表示された場合は、ファイルとアプリケーションの関連付けができていないことを意味します。

**A** ファイルは圧縮されていませんか？
ZIP以外の圧縮ファイルは専用の解凍ツールが必要です。

## Q 圧縮されたファイルを入手した

**A** 圧縮ファイルには、ZIPやLZHなどいろんな形式が存在します。Windows XPは、ZIP形式で圧縮されたファイルを解凍することができます。

ZIP形式のファイルは、「マイコンピュータ」などで以下のようなアイコンで表示されます。（Windows XPでは、「圧縮フォルダ」と呼んでいます。）

圧縮されているファイルのアイコンが表示される。（Excelファイルの例です。）

ZIP形式以外の圧縮ファイルは、専用の圧縮解凍プログラムが必要になります。ファイルがどの形式で圧縮されているか入手元に確認してください。
また、圧縮ファイルでも、拡張子がEXEの場合は、ダブルクリックするだけで自動的に解凍（自己解凍）が始まるものもあります。

## Q ファイルにつけたパスワードを忘れた

**A** ファイルへのアクセスを制限するパスワードを忘れたときは、忘れたパスワードを解除する方法がありません。

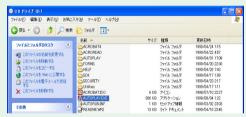
解説

# アプリケーションのインストール

**必ず、Windows XPに対応したものをお使いください。Windows XPに対応していないものをインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。また、アプリケーションのインストールは、「コンピュータの管理者」ユーザーでログオンして行ってください。**

## 市販のアプリケーションをインストールする

たいていのものはCDで提供されます。CDをセットすると、自動的にウィザードが起動してインストール操作を導入してくれるものと、自動的にウィザードが起動しないものがあります。自動的にウィザードが起動しない場合は、[スタート]→[マイコンピュータ]→[DVD/CD-RWドライブ*]をクリックして、セットアップ用のアイコン（.EXEという拡張子のものが多い）をダブルクリックしてください。

*アプリケーションの名称になっている場合もあります。

インストール手順について詳しくは、アプリケーションの説明書をご覧ください。

## フリーソフトやシェアウェアなどをインストールする

インターネットや雑誌に付いてるCD-ROMなどを通じて配布されるソフトには、無料で提供されるフリーソフトと、お試し期間のあと続けて使用する場合に使用料を払うシェアウェアがあります。（また、インターネット上で公開されている有料のソフトの多くは、クレジット決済で購入できます。）
各ソフトのインストール方法については、インターネット上の説明やCD-ROMなどに付属の説明書に従ってください。

## 工場出荷時にインストール済みのアプリケーションをインストールし直す

→198ページ「アプリケーションをインストールしなおすには」

# アプリケーションの削除のしかた

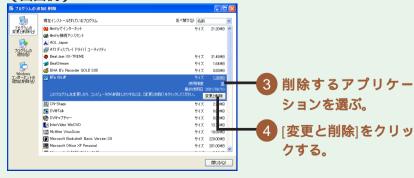
アプリケーションを削除する場合は、アプリケーションのフォルダーやファイルを削除するのではなく、「プログラムの追加と削除」からアンインストール（削除）操作を行います。
「コンピュータの管理者」ユーザーでログオンして、下記手順に従って操作してください。

1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックする。

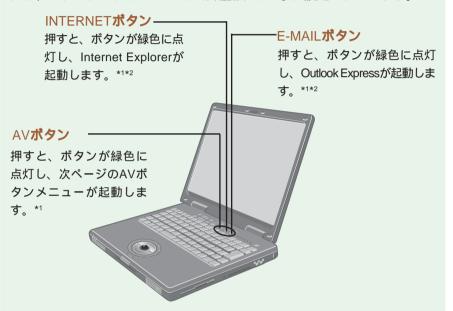
2 [プログラムの追加と削除] をクリックする。

（画面例）

3 削除するアプリケーションを選ぶ。

4 [変更と削除]をクリックする。

以降、画面に従って操作してください。

# アプリケーションボタンについて

ディスプレイとキーボードの間にあるアプリケーションボタン（AV INTERNET E-MAIL）には、それぞれアプリケーションが起動するように設定されています。

*1 工場出荷時の設定です。
*2 通信の設定をまだ行っていない場合は、『活用例集』「通信編」をご覧のうえ、設定を行ってください。

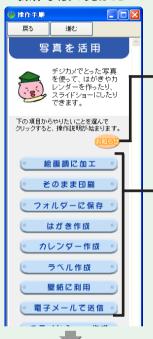
（次ページへ続く）

(つづき)

## AV ボタンメニュー

用途から選んで、アプリケーションを起動することができます。

＜メニューの選びかた＞
ジョグホイールをゆっくり回すとポインターが動きます。（カーソルキー ↑ ↓ でも動きます。）
目的のメニューにポインターを合わせて、クリックします。

アプリケーションと操作手順が同時に起動します。

（次ページへ続く）

（つづき）

## ＜操作手順の見かた＞

「お願い」や「お知らせ」の上にポインター（　）を移動すると概要が表示されます。
クリックすると詳細内容が表示されます。

項目の中からやりたいことを選んでクリックすると、下記の操作説明が表示されます。

ひとつ前に開いた画面に戻ります。

ひとつ後で開いた画面に進みます。

クリックすると、準備するものや操作の流れがわかるムービーが始まります。

### ＜ページの移動＞

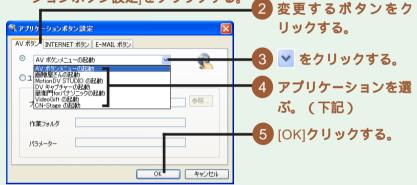
操作手順のウィンドウ内を一度クリックしてからジョグホイールを回すとページが前後に移動します。

（次ページへ続く）

（つづき）

## アプリケーションボタンの設定を変更するには

アプリケーションボタンを押したときに起動するアプリケーションを用途に応じて変更することができます。
以下の手順を参照してください。

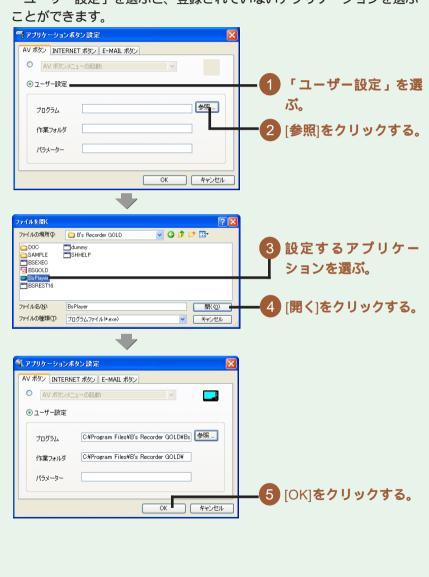
1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[Panasonic]→[アプリケーションボタン設定]をクリックする。
2. 変更するボタンをクリックする。
3. をクリックする。
4. アプリケーションを選ぶ。（下記）
5. [OK]クリックする。

工場出荷時は、それぞれ以下のアプリケーションが登録されています。

| AV ボタン | INTERNET ボタン | E-MAIL ボタン |
|---|---|---|
| AV ボタンメニューの起動<br>画贈屋さんの起動 *<br>MotionDV STUDIO の起動 *<br>DV キャプチャーの起動 *<br>蔵衛門 for パナソニックの起動<br>VideoGift の起動 *<br>CN-Stage の起動 * | Internet Explorer の起動 | Outlook Express の起動 |

下線は工場出荷時に、選択されているアプリケーションです。
*印のアプリケーションは、「制限付きアカウント」でログインしている場合には、表示されません。

（次ページへ続く）

（つづき）

「ユーザー設定」を選ぶと、登録されていないアプリケーションを選ぶことができます。

## Q アプリケーションについて問い合わせしたい

**A** [スタート]→[マニュアルの部屋]をクリックして、「各アプリケーションの窓口」をご覧ください。

## Q 起動したアプリケーションが表示されない（タスクバーには名前が表示されている）

**A** アプリケーションの画面が最小化されていることが考えられます。タスクバーの表示をクリックしてみてください。

**A** アプリケーションが外部ディスプレイ（モニター２）にある状態または外部ディスプレイでそのアプリケーションを終了したあとで、拡張表示位置を変更したりデュアルディスプレイモードを終了したりすると、次回、起動したアプリケーションが画面に表示されない場合があります。

＜拡張表示位置を変更したあと、表示されなくなった場合＞
起動したアプリケーションは変更前の拡張表示位置に表示されています。
いったん、拡張表示位置を変更前の状態に戻してから、アプリケーションを内蔵LCD（モニター１）に移動したあと、拡張表示位置を変更してください。

<デュアルディスプレイモードを終了したら、表示されなくなった場合>
起動したアプリケーションは外部ディスプレイ（モニター２）に表示されています。再度、デュアルディスプレイモードに設定し、アプリケーションを外部ディスプレイ（モニター２）から内蔵LCD（モニター１）に移動した後、デュアルディスプレイモードを終了してください。

## Q アプリケーションの追加や削除ができない

**A** アプリケーションの追加や削除は、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンして行ってください。「制限付きアカウント」のユーザーでログオンしている場合には、追加や削除を行うことができません。

## Q アプリケーションを起動できない

**A** 「制限付きアカウント」のユーザーでログオンしている場合には、使用できないアプリケーションがあります。また、他のユーザーが同じアプリケーションを起動している場合や関連するアプリケーションを起動している場合にも、このようなことが起こる場合があります。他のユーザーでの使用を終了してから、もう一度起動してください。

詳しくは、『活用例集』の「はじめに-アプリケーションの使用制限について-」をご覧ください。

## Q 動作がおかしい・操作ができなくなった

**A**

「よくあるパニック」の以下の項目をご覧ください。
→24ページ「砂時計のマーク⌛が出たままになる」
→25ページ「マウスやトラックボールのポインターが動かない」
→28ページ「動作が遅い」

しばらく使っていて、頻繁にこのようなことが起こる場合は、アプリケーションをインストールしなおす必要があるかもしれません。
→152ページ「アプリケーションのインストール」
→198ページ「アプリケーションをインストールしなおすには」

## Q ゲームソフトが正常に起動しない

**A**

MotionDV STUDIO、DVキャプチャー、WinDVD、キャプチャードライバー、オーバーレイ機能、Direct DrawおよびDirect Soundを使用した動画表示アプリケーションが起動している場合は終了してください。

**A**

動作環境やDVDビデオによっては、コマ落ちする（映像・音声が一瞬途切れる）場合があります。
また、デュアルディスプレイモードでは正常に動作しない場合があります。

**A**

アイコンやウィンドウのないデスクトップの背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックして「画面のプロパティ」を開いた後、「設定」タブの「画面の色」を「中（16ビット）」に設定してみてください。

## Q アプリケーションの起動時、シリアル番号などを聞いてくる

**A** 下記のアプリケーションは、初回起動時にシリアルナンバーを入力する必要があります。

●B's Recorder GOLD

初回起動時に「ユーザー情報登録」画面が表示されます。付属のB's Recorder GOLD/B's CLiPユーザー登録カード（またはお客様控）に記載されているシリアル番号を入力してください。また、名前、会社名に必ず文字を入力してください。

## Q 「Windowsー仮想メモリ最小値が低すぎます」と表示される

**A** アプリケーションをいろいろ起動していると、作業のための記憶領域（メモリー）が不足します。使わないアプリケーションは終了してください。

# USB 機器について

USBとはUniversal Serial Bus（ユニバーサル・シリアル・バス）の略で、ひとつのポートで、キーボード、マウス、プリンターなどいろいろな周辺機器に対応できます。本機にはUSBコネクターが2つ用意されています。「USBハブ」と呼ばれる機器を接続することにより、さらにポートを拡張することができます。
USBに対応した周辺機器をUSB機器と呼びます。USB機器は、パソコンの電源を切らずに抜き差しができるので便利です。

USB機器には以下のような機器があります。

- スキャナー
- プリンター
- マウス
- キーボード
- フロッピーディスクドライブ
- MOディスクドライブ
- ハードディスク
- DVD-RAMドライブ　など

解説

# USB 機器の取り付け／取り外し

USB機器の取扱説明書もご覧ください。USB機器は本体の電源を切らなくても、取り付け／取り外しができます。
はじめて接続した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示された場合は、接続した機器の説明書に従って操作してください。「次へ」をクリックし、画面に従って操作するだけで設定が完了する場合もあります。

機器によっては、取り外しの際、終了操作が必要なものもあります。タスクバーにが表示されている場合は以下の操作を行ってください。

1. タスクバーのをクリックし、[“取り外す機器の名称”を安全に取り外します]をクリックする。
2. 「“取り外す機器の名称”は安全に取り外すことができます。」と表示されたらUSB機器を取り外す。

# マウスの使いかた

本機にはUSBタイプのマウスを接続することができます。
使用するマウスによってはドライバー（機器を動かすために必要なプログラム）のインストールが必要な場合があります。
マウスに付属の説明書に従ってインストールを行ってください。

# プリンターの使いかた

## 本機に接続できるプリンターの種類

USBタイプのプリンターを接続することができます。
（接続については、プリンターに付属の取扱説明書もご覧ください。）

ケーブルのコネクターの マークを左側にして縦向きに挿入します。

## プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバー（機器を動かすために必要なプログラム）のインストールが必要です。詳しくはプリンターに付属の説明書に従ってインストールを行い、接続したプリンターを「通常使うプリンタ」（→185ページ「プリンターが動作しない」）に設定してください。

以下のプリンタードライバーはあらかじめ本機に用意されています。プリンターを接続して電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示され自動的に適切なドライバーを検出してインストールが始まります。画面に従ってください。

Canon　：BJ S300/S500/S630/S700/F890/F900
EPSON　：PM-730C/830C/890C、CL-700

**お願い**

- プリンターに付属しているドライバーのバージョンが本機のものよりも新しい場合は、188ページに従ってドライバーを更新してください。
- プリンタードライバーは、プリンターメーカー側で短期間に更新される場合があります。必要に応じてプリンターメーカーのホームページなどで最新のドライバーを入手し、更新してください。
- 必ず、Windows XPに対応したドライバーをご使用ください。対応していないものをインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。

解説

# パソコンへの録音のしかた

サウンドレコーダーを使った例を紹介します。

マイク入力端子

1 マイクをマイク入力端子に接続する。
市販のミニジャックタイプのコンデンサー型モノラルマイクを使用してください。

2 マイクの録音レベルを調節する。
→86ページ「マイク録音時の入力レベルが小さい」

3 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] →[エンターテイメント] →[サウンドレコーダー]をクリックする。

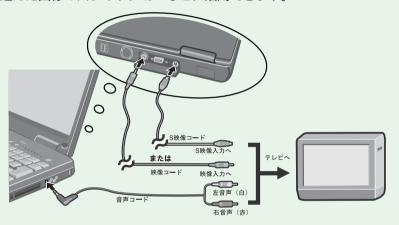
4 クリックして、マイクに向かって話す。

5 話が終わったらクリックする。

6 クリックして、内容を確認する。
録音しなおすときは、[ファイル]→[新規]をクリックしてください。

7 [ファイル]→[名前を付けて保存]をクリックして保存する。
WAVEファイル形式で保存されます。

# テレビにパソコン画面を表示するには

**S映像コード（別売り）または映像コード（別売り）を使ってテレビに接続することにより、パソコンの画面をテレビに表示することができます。取り込んだ画像のスライドショーなどに活用できます。**

**お願い**

- DVDビデオやパソコンに取り込んだデジタルビデオカメラの画像を表示させる場合、表示先を「テレビ」に設定しておく必要があります。
  →169ページ「テレビに動画やDVDビデオを表示するには」
- S映像コード（別売り）または映像コード（別売り）でパソコンとテレビを接続しただけでは、音声を聞くことができません。音声を聞きたい場合は、別途、パソコンのオーディオ出力端子とテレビの音声入力を、音声入力ケーブル（別売り）でつないでください。
- S映像入力端子と映像入力端子の両方があるテレビの場合は、S映像入力端子に接続することをおすすめします。
- テレビ側の入力切換を、使用している映像入力端子に対応したもの（ビデオ1、ビデオ2など）に切り換えてください。

# テレビに動画やDVDビデオを表示するには

DVD ビデオや DV 画像を表示させる場合、S 映像コード（別売り）または映像コード（別売り） を使ってテレビに接続したあと、表示先を「テレビ」に設定しておく必要があります。

「制限付きアカウント」でログオンしている場合は、この操作を行うことができません。

1 タスクバーの をクリックする。

2 [スキーム]にポインターを合わせる。

3 「テレビ」をクリックする。

選択されている設定を示すものではありません。

内蔵LCD　：パソコン本体のLCDパネルにのみ表示。
（「画面のプロパティ」の設定では、「パネル」のみ「プライマリ」になっています。→187ページ）

テレビ　：S映像出力端子に接続したテレビとパソコン本体のLCDパネルに表示。
動画などの画像は、テレビにのみ表示。
（「画面のプロパティ」の設定では、「テレビ」のみ「プライマリ」になっています。→187ページ）

外部ディスプレイ　：外部ディスプレイとパソコン本体のLCDパネルに表示。動画などの画像は、両方の画面に表示可能。
（「画面のプロパティ」の設定では、「モニタ」と「テレビ」が「プライマリ」になっています。→187ページ）

（次ページへ続く）

（つづき）

・スキームの切り換えは Ctrl + Alt を使って行うこともできます。
「内蔵 LCD」選択　：Ctrl + Alt + 1
「テレビ」選択　：Ctrl + Alt + 2
「外部ディスプレイ」選択　：Ctrl + Alt + 3
・デュアルディスプレイモード（→172 ページ）では、表示先を切り換えることができません。

お願い

**DVDビデオのテレビへの表示が異常なとき**

コピーガードされているDVDビデオは、ビデオデッキなどを経由するとテレビ画面への出力（表示）が正しく行われません。パソコンを直接テレビに接続してください。

**テレビへの接続を終了したら**

再度前ページの手順を実行して、「内蔵LCD」を選んでおいてください。テレビに接続していないのに「テレビ」を選択していると、動画などの画像がパソコン本体のLCDパネルに表示されません。

# 外部ディスプレイの使いかた

1280×1024ピクセル以上の表示能力のある外部ディスプレイを接続すると、さらに広いウインドウ領域を表示することができます。
また、1024×768以下の表示能力しかない外部ディスプレイでも「デュアルディスプレイ機能」を使えば、LCDと外部ディスプレイを連続したウィンドウとして使えます。
→172ページ「デュアルディスプレイ機能とは」

Dsub15ピンタイプの外部ディスプレイを接続する。

ドライバーのインストールが必要なものもあります。
詳しくは、外部ディスプレイの説明書をご覧ください。

解説

# デュアルディスプレイ機能とは

**別売りの外部ディスプレイを接続している場合、デュアルディスプレイモードを使うと内蔵LCDと外部ディスプレイを連続した表示領域として使うことができます。**

**内蔵LCD**　　**外部ディスプレイ**

**内蔵LCDから外部ディスプレイにウィンドウのドラッグ移動ができます。（上記はサンプル画面です。実際の画面と異なる場合があります。）**

- アプリケーションによっては、デュアルディスプレイモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックするとどちらか一方のディスプレイに最大表示されます。
- 最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- デュアルディスプレイモードに設定している状態で、外部ディスプレイを取り外してパソコンを起動した場合は、画面の解像度や色の変更ができません。
- デュアルディスプレイモードを解除する場合は、必ず、外部ディスプレイを接続してデュアルディスプレイモードを使用している状態で解除の設定を行ってください。
- デュアルディスプレイモードを使うと、各種アプリケーション（インターネットエクスプローラなど）のスクロール速度が少し遅くなります。

# デュアルディスプレイ機能の設定方法

**1 外部ディスプレイをつなぐ。**

→171ページ「外部ディスプレイの使いかた」

**お願い** 下記の設定を行う前に、必ず、外部ディスプレイを接続しておいてください。

**2 デスクトップの背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックし、[プロパティ]をクリックする。**

**3 [設定]をクリックする。**

**4 外部ディスプレイ[2]を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックする。**

**5 「接続」にチェックマークを付ける。**

**6 [適用]をクリックする。**

**確認のメッセージが表示されたら[はい]をクリックしてください。**

（次ページへ続く）

（つづき）

## 7 画像の解像度・色を設定する。

「画面のプロパティ」の「設定」画面で設定します。内蔵LCDと外部ディスプレイにはそれぞれモニター番号が付けられています。内蔵LCD[1]と外部ディスプレイ[2]をクリックし、それぞれに対して画面の解像度・色を指定してください。

[2]：外部ディスプレイ

## 8 拡張表示位置を設定する。

モニター番号をドラッグ＆ドロップし、実際の外部ディスプレイの配置位置にあわせると、操作がしやすくなります。

**外部ディスプレイの配置例：**

右側に配置する場合　　後側に配置する場合　　左側に配置する場合

1　2

## 9 [OK]をクリックする。

**モニター番号を確認するには**

画面のプロパティのモニター番号をクリックしたままにしておくと、その番号に対応したモニター側に右のように番号が表示されます。

解説

# PC カードについて

PCカードスロットに装着する機能拡張用のカードです。SCSIカード、フラッシュメモリーカードなどさまざまな用途のものがあります。以下に主なカードの使用例を紹介します。

・SCSI（通称「スカジー」）カード
　MO、ハードディスクなど各種SCSIインターフェースドライブやスキャナーを接続するために使用します。

・ATAフラッシュメモリーカード
　パソコン間での大容量ファイルのやりとりに使用します。

・ワイヤレス通信カード
　ワイヤレスで通信を行う際に使用します。

その他にも
デジタルスチルカメラで撮った画像を保存しているコンパクトフラッシュカードやPCカードタイプのハードディスクなどがあります。

カードは厚みによってタイプⅠ（3.3mm）、タイプⅡ（5.0mm）、タイプⅢ（10.5mm）の3つの種類に分けられます。本機にはPCカードスロットが2つあり、タイプⅠおよびタイプⅡは上下どちらのスロットでも使用できます。タイプⅢのカードは下段のスロットのみ使用できます。

**お願い**　**ご使用の前に**

必ず、PCカードの消費電力を確認してください。PCカードスロットの許容電流（1スロットの許容電流：3.3 Vで750 mA,5 Vで500 mA,12 Vで50 mA）を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。

解説

# PC カードの取り付け／取り外し

**お願い**

**ご使用の前に**

- 必ず、PCカードの消費電力を確認してください。PCカードスロットの許容電流（1スロットの許容電流：3.3 Vで750 mA,5 Vで500 mA,12 Vで50 mA）を超えて使用すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
- PCカードの操作方法は、PCカードに付属の取扱説明書をご覧ください。
- スタンバイや休止状態時には、取り付け・取り外しは行わないでください。
- 本機はZVカードには対応していません。

## 取り付ける場合

カードをPCカードスロットにしっかりと差し込む。

**お願い**

**取り付けるとき**

- カードの形状によっては、装着後、外に突き出たままになるものもあります。無理に押さないよう注意してください。無理に押すとスロットが破損する場合があります。
- タイプ Ⅰ およびタイプ Ⅱ は上下どちらのスロットでも使用できます。タイプ Ⅲのカードは下段のスロットのみ使用できます。

**持ち運ぶとき**

パソコンを持ち運ぶ際には、下図のように突き出たカードは、必ず取り外してください。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 取り出す場合

**お願い** CardBusおよびネットワークカードを取り出す場合は、必ず電源を切ってから取り外してください。

1. タスクバーのをクリックし、[“取り外す機器の名称”を安全に取り外します]をクリックする。

2. 「“取り外す機器の名称”は安全に取り外せます」というメッセージが表示されたら下記手順❸❹に従ってPCカードを取り出す。

3. 取り出しボタンを押すと、取り出しボタンが飛び出すので（下図）、再度押してカードを取り出す。

4. カードを取り出した後、取り出しボタンが飛び出たままになっている場合は、ボタンを押して奥に収納する。

# SD/マルチメディアカードについて

## SD メモリーカード

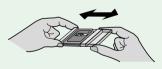
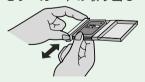
コンテンツの配信サービスに対応する高度な著作権保護技術によって開発された、小型軽量のメモリーカードです。
SDメモリーカードには以下のような活用方法があります。

- 音楽データを書き込み（チェックアウト）、別売りのSDオーディオプレーヤーで聞く。

SDオーディオプレーヤー

- SDメモリーカードのカードスロット搭載機器（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラなど）とのデータのやりとりに使う。（SD-Jukeboxで音楽データを録音したSDメモリーカードを、パソコンにセットしても直接は再生できません。詳しくはSD-Jukeboxの説明書をご覧ください。）
- メモリーカードとして使う。（ファイルなどを保存するドライブとして使えます。）

### SDメモリーカードの取り出しと収納

＜ケースの開け方・閉じ方＞

カードの性能保持のため、ケースの開閉は必ず両手で側面（4か所）を水平になるように持って行ってください。

＜SDメモリーカードの取り出し・収納＞

カードの出し入れは、必ずトレイに沿わせてスライドさせながら行ってください。収納時は、カードが正しくトレイに収まっていることを確認してからケースを閉じてください。

SDメモリーカードの取り扱い上のお願い→次ページ

（つづき）

### 取り扱い上および保管上のお願い

- 使用機器から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部を手や金属で触らないでください。
- 貼られているラベルは、はがさないでください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりの多いところには置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

### 大切なデータを保護するために

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音（チェックアウト）・編集をするときは解除してください。

裏
書き込み禁止スイッチ
メモスペース

- メモスペースに文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。鉛筆やボールペンは使用しないでください。カード本体に損傷を与えたり、データが破壊されたりすることがあります。
- データの読み出し中や書き込み中は、カードを抜いたり、カードが入っている機器および周辺機器の電源を切らないでください。乾電池を電源とする機器では乾電池を取り出したりしないでください。データが破壊されることがあります。（お客様の記録されたデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）
- 大切なデータはCD-RやCD-RWなどにバックアップをとっておくことをおすすめします。

### 転送速度について

- 本機のＳＤスロットによる転送速度は２ＭＢ／秒です。高速な転送速度に対応したＳＤメモリーカードをお使いの場合でも、転送速度は２ＭＢ／秒になります。

（次ページへ続く）

（つづき）

## マルチメディアカード（MMC）

マルチメディアカードには以下のような活用方法があります。

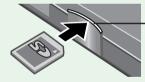
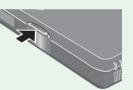
- マルチメディアカードスロット搭載の各種機器（デジタルビデオカメラ、デジタルスチルカメラなど）とのデータのやりとりに使う。
- メモリーカードとして使う。（ファイルなどを保存するドライブとして使えます。）

解説

## SD/マルチメディアカードの取り付け／取り外し

ラベル面を上にして、角が欠けた方からしっかりと差し込む。

SD/マルチメディアカードスロット

カードを押すと、カードが少し出てくるのでそのまま引き出す。

**お願い**

- カードは向きに注意してセットしてください。間違った方向にセットすると故障の原因になります。
- 取り出す際は必ず、カードを押して、カードを少し飛び出た状態にして（ロックを解除して）から取り出してください。ロック状態で無理に引き抜くと故障の原因になります。
- 書き込みなどの操作の後、しばらく断続的にアクセスすることがあります。SD/マルチメディアカードアクセスランプ SD が完全に消えていることを確認してから取り出してください。点灯中に取り出すと、大切なデータが壊れることがあります。

SD/マルチメディアカードアクセスランプ SD

# メモリーの増設のしかた

メモリーを増設することによって、アプリケーションの動作を快適にすることができます。
現在のメモリー容量は、セットアップユーティリティの「標準セットアップ」画面（→201ページ「セットアップユーティリティの設定」）で確認することができます。工場出荷時は、128 M バイトです。さらに別売りのRAM モジュールを増設することによって最大256 M バイトまでメモリー容量を増設することができます。RAMモジュールを増設または取り外す場合は、以下の手順に従って操作してください。

**お願い**

下記以外のRAMモジュールを増設すると、正常に動作しないだけでなく故障の原因になる場合があります。

- 64 M バイト RAM モジュール　品番:CF-BAF1064J
- 128 M バイト RAM モジュール　品番:CF-BAF0128J

<推奨RAM モジュール仕様>

144 ピン、SO-DIMM 、3.3 V 、SDRAM 、100 MHz*

*66 MHz のRAM モジュールは使用しないでください。

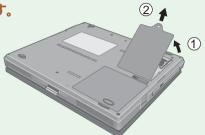
1. **操作を終わり、電源が切れたことを確認し、ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。**
   →100ページ「バッテリーパックの取り付け／取り外し」
2. **本体を裏返して、下図のようにネジを取り外す。**

**お願い**

- ネジのサイズにあったドライバー（精密ドライバーなど）をご使用ください。
- 取り外したネジはなくさないようにしてください。

（次ページへ続く）

（つづき）

3 カバーを取り外す。

4 RAMモジュールを取り付ける/取り外す。

**お願い**

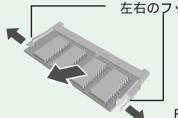
- スタンバイや休止状態のときは、RAMモジュールの取り付け・取り外しを行わないでください。RAMモジュールが破損したり、正常に動作しないことがあります。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などにも触れないでください。

＜取り付ける場合＞

向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。

（次ページへ続く）

（つづき）

<取り外す場合>

①左右のフックを外側に広げる。

RAMモジュールが少し浮きあがります。

②RAMモジュールを斜め上の方向に引き抜く。

## 5 手順 ❸ ,❹ で取り外したカバーを取り付ける。

**お願い** 必ず、手順❷で取り外したネジをご使用ください。

## 6 ACアダプター、バッテリーパックを取り付ける。

## Q USB 機器が動作しない

**A** USBコネクターに確実に接続されているか確認してください。

**A** USB機器に電源スイッチがある場合、電源が入っているか確認してください。

**A** 適切なドライバープログラムがインストールされているか確認してください。必要に応じてドライバーの更新を行ってください。

## Q マウスが動かない

**A** マウスケーブルが正しく接続されているか確認してください。

**A** マウスによっては、ドライバーのインストールが必要な場合があります。

## Q プリンターが動作しない

**A**

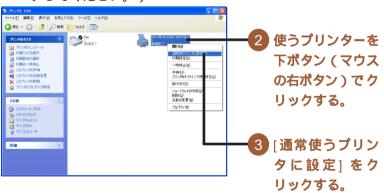
・ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
・プリンターの電源が入っているか確認してください。

**A**

接続したプリンターが「通常使うプリンタ」に設定されているか確認してください。

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX]をクリックする。
（「プリンタとその他のハードウェア」アイコンが表示されていない場合は、「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。）

2 使うプリンターを下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックする。

3 [通常使うプリンタに設定]をクリックする。

4 再度、アプリケーションからプリントしてみる。

**A**

適切なドライバープログラムがインストールされているか確認してください。必要に応じてドライバーの更新を行ってください。
詳しくは、プリンターに付属の説明書をご覧ください。

**A**

パソコンを再起動してみてください。また、プリンターの電源を入れ直してみてください。

## Q テレビに表示した画面が見づらい

**A** テレビはパソコンのLCDやモニターにくらべ、表示能力が劣るため文字などが見づらくなります。テレビへの表示は、動画やDVDビデオの再生にお使いください。
文字などをテレビで表示させたい場合は、「画面の解像度」を800 x 600ピクセルに設定すると文字が大きくなり、比較的見やすくなります。

1 デスクトップの背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックし、[プロパティ]をクリックする。

2 [設定]をクリックする。

3 「画面の解像度」を800 x 600ピクセルに設定する。

## Q テレビにつないだとき音が出ない

**A** S映像コード（別売り）または映像コード（別売り）でパソコンとテレビを接続しただけでは、音声を聞くことができません。音声を聞きたい場合は、別途、パソコンのオーディオ出力端子とテレビの音声入力を、音声入力ケーブル（別売り）でつないでください。

## Q 外部ディスプレイに表示できない

**A** 外部ディスプレイとテレビを同時に使用するときは、下記手順に従って、一方を「プライマリ」、他方を「セカンダリ」に設定してください。両方とも「プライマリ」または「セカンダリ」に設定すると、外部ディスプレイによっては正常に表示できないことがあります。

1. アイコンやウィンドウのない背景部分を下ボタン（マウスの右ボタン）でクリックする。
2. [プロパティ]をクリックする。
3. [設定]→[詳細設定]→[画面]をクリックする。
4. 「モニタ」と「テレビ」のどちらかを「プライマリ」に、もう一方を「セカンダリ」に設定し、[OK]をクリックする。
5. [OK]をクリックして、「画面のプロパティ」画面を閉じる。

## Q PC カードが使えない

**A** カードが正しくセットされているか確認してください。

**A** 適切なドライバープログラムがインストールされているか確認してください。また、インストール後は、パソコンの再起動が必要な場合があります。

**A** PCカードの消費電力が、PCカードスロットの許容電流（1スロットの許容電流：3.3 Vで750 mA, 5 Vで500 mA,12 Vで50 mA）にあっていますか？許容電流を超えて使用すると、故障の原因になります。

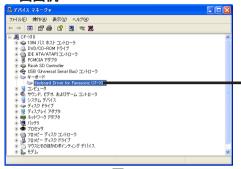
## Q 周辺機器が動作しない（ドライバーの入れ直しかた）

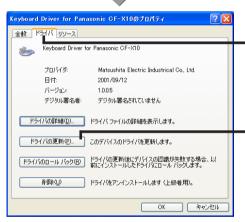
**A** 追加した周辺機器や各種デバイスが正常に動作しない場合、ドライバーをインストールしなおしたり、更新したりすることで正常に動作するようになることがあります。
周辺機器によっては、最新のドライバーをそれぞれの周辺機器メーカーのホームページからダウンロードできるものがあります。周辺機器の説明書やホームページを参照してください。下記は一般的な手順を紹介しています。

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]をクリックする。
（「パフォーマンスとメンテナンス」アイコンが表示されていない場合は、「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。）
2. [ハードウェア]→[デバイスマネージャ]をクリックする。

（次ページへ続く）

（つづき）

## ＜画面例＞

3 ⊞ をクリックする。

4 更新するデバイス（機器）をダブルクリックする。

5 [ドライバ] をクリックする。

6 [ドライバの更新] をクリックする。

7 「一覧または特定の場所からインストールする」に◉を付ける。

8 クリックする。

（次ページへ続く）

（つづき）

9 「次の場所で最適のドライバを検索する」に◉を付ける。

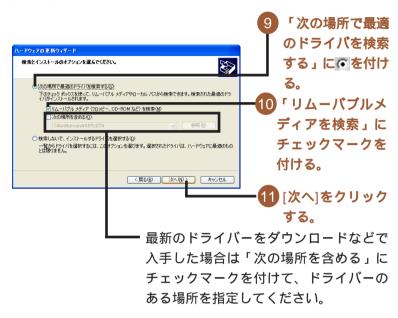
10 「リムーバブルメディアを検索」にチェックマークを付ける。

11 [次へ]をクリックする。

最新のドライバーをダウンロードなどで入手した場合は「次の場所を含める」にチェックマークを付けて、ドライバーのある場所を指定してください。

12 [一覧]からドライバーを選ぶ。

13 [次へ]をクリックする。

14 [完了]をクリックする。

## Q 割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレス等、アドレスマップがわからない

## A システムツールで確認する

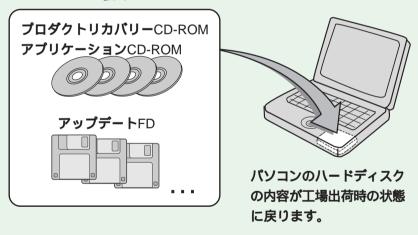
1. ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］をクリックする。
2. 「ハードウェアリソース」の左横の⊞をクリックする。
3. ［IRQ］または［I/O］をクリックする。

### システムのプロパティで確認する

1. 「スタート」→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]をクリックする。
（「パフォーマンスとメンテナンス」アイコンが表示されていない場合は、[カテゴリの表示に切り替える]をクリックしてください。）
2. [ハードウェア]→「デバイスマネージャ」をクリックする。
3. [表示]→[リソース（種類別）]をクリックする。
4. [割り込み要求(IRQ)]または[入出力(I/O)]の横の⊞をクリックする。

# 買ったときの状態（工場出荷状態）に戻すには

パソコンが正常に動作しなくなったり、ハードディスクの内容が壊れてしまったりした場合、「再インストール」と呼ばれる操作を行って工場出荷状態に戻すことができます。
「再インストール」をするには、付属のCD-ROM（「プロダクトリカバリーCD-ROM」と「アプリケーションCD-ROM」）とはじめに作成した「アップデートFD」*が必要です。

* パソコンの機種（モデル）によって枚数は異なります。また、作る必要がない場合があります。→『はじめましてパソコン』「アップデートFDを作る」

**お願い**

- 「アップデートFD」には、付属のCD-ROMにはない新しい情報が書き込まれます。ただし、個人で作成したデータは書き込まれません。
- 再インストールすると、これまでのハードディスクの内容がすべて消えて、工場出荷状態に戻ります。必要な個人データはフロッピーディスクやCD-Rなどにバックアップしておいてください。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 再インストールの準備

1. 下記のものを準備する。
   - あらかじめ作成しておいたアップデートFD
     →『はじめましてパソコン』「アップデート FD を作る」
     （必ず、ライトプロテクトタブを書き込み不可の状態にしておいてください。）
   - 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」（付属）
   - 「プロダクトリカバリーCD-ROM2」（付属）
   - 「プロダクトリカバリーCD-ROM3」（付属）
   - 「プロダクトリカバリーCD-ROM4」（付属）
   - 「アプリケーションCD-ROM2」（付属）
   - 「アプリケーションCD-ROM3」（付属）
2. Windowsを終了して操作を終わり、電源が切れたことを確認する。
   →『はじめましてパソコン』「電源の切りかた」

**お願い** 必ず、ACアダプターを装着してください。ACアダプターを装着していないと、再インストールは行えません。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 再インストールする

1. パソコンの電源を入れ、「Press <F2> to Enter BIOS SETUP」が表示されているときに、F2を押し、セットアップユーティリティを起動する。
2. ↑↓で「デフォルト設定」を選んで、Enterを押す。
   **確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んでEnterを押す。**
3. ↑↓で「起動」を選んでEnterを押し、第一起動デバイスが「CD/DVDドライブ」、第二起動デバイスが「フロッピードライブ」、第三起動デバイスが「ハードディスクドライブ」になるようにFn+PgUp、Fn+PgDnを押して設定する。
4. 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をドライブにセットする。
5. Escを押して、セットアップユーティリティのメイン画面に戻った後、↑↓で「設定を保存して終了」を選んで、Enterを押す。
   **確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んでEnterを押し、設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。**
6. 「再インストールを開始しますか」と表示されたらYを押す。その後、「再インストールを実行するためには…同意していただく必要があります」と表示されますので1を押す。
7. <ハードディスクの内容をすべて工場出荷の状態にする場合>
   [1.**ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。**]を選ぶ。

ハードディスクを1つのパーティション（Cドライブのみ）にして、再インストールを行います。

（次ページへ続く）

（つづき）

＜パーティションを区切って、最初のパーティションにWindowsを再インストールする場合＞

[2.最初のパーティションにWindowsを再インストールする。]を選ぶ。

最初のパーティションには、10 GB以上の領域が必要です。

8 最終確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。（1時間程度かかります。）

9 画面のメッセージに従って、プロダクトリカバリーCD-ROMを番号順に入れ替える。

10 「再インストールを完了しました。」と表示されたら、「プロダクトリカバリーCD-ROM4」を取り出して、Ctrl+Alt+Deleteを押して再起動する。

11 「Press <F2> to Enter BIOS SETUP」が表示されているときに、F2を押し、セットアップユーティリティを起動する。

12 ↑ ↓で「デフォルト設定」を選んで、Enterを押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

（次ページへ続く）

（つづき）

13 ↑ ↓ で「設定を保存して終了」を選んで、Enter を押す。

確認メッセージが表示されたら、「はい」を選んで Enter を押す。

14 Windowsのセットアップを行う。

セットアップ操作については、『はじめましてパソコン』「はじめて電源を入れる」の「セットアップのしかた」をご覧ください。

＜「アップデートFD」がある場合＞

バックアップディスク作成プログラムで、「アップデートFD」を作成した場合（→192ページ）、アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

15 アプリケーション（「駅すぱあと」と「筆ぐるめ」）をインストールする。

①起動中のアプリケーションやメモリー常駐ソフトウェア（ウィルスチェックプログラムなど）を終了する。

②「アプリケーションCD-ROM2」をドライブにセットする。
アプリケーションインストールメニューが自動的に表示されますので、[駅すぱあと]をクリックした後、画面に従ってインストールを行ってください。

③「アプリケーションCD-ROM3」をドライブにセットする。
アプリケーションインストールメニューが表示されますので、[筆ぐるめV9.0]をクリックした後、画面に従ってインストールを行ってください。

省電力設定が働いて、自動的に画面が消えることがあります。
この場合、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を1回押してください。

（次ページへ続く）

（つづき）

### 16 Microsoft® Office XP Personalのセットアップを行う。

付属のMicrosoft® Office XP Personalパッケージ一式を用意し、パッケージに付属の説明書に従って再インストール、およびライセンス認証を行ってください。
工場出荷状態に戻すには、Microsoft® /Shogakukan Bookshelf® Basicもインストールしてください。

**お願い** 「インストールするアプリケーション」を選ぶ画面で、下記のアプリケーションを「インストールしない」に設定することをおすすめします。（工場出荷状態には、インストールされていません。）

- 「Microsoft Excel for Windows」の中の「読み上げ」
- 「Office共有機能」の中の「入力システムの拡張」の「音声」

- Microsoft® Office XP Personalのサポートについては、付属のソフトウェアパッケージの説明書をご覧ください。
- Microsoft® Office XP Personalをセットアップしない場合、日本語入力ツールバーが本機の取扱説明書と多少異なります。

### 17 Microsoft® Encarta® 百科事典 2001 Basicをインストールする。

付属のMicrosoft® Encarta® 百科事典 2001 Basicのパッケージを用意して、パッケージに付属の説明書に従ってインストールを行ってください。

Microsoft® Encarta® 百科事典2001 Basicをインストール中に、下記のメッセージ画面が表示される場合があります。その際は、[続行]をクリックしてください。（Microsoft® Encarta® 百科事典2001 Basicには音声機能は含まれていません。）

解説

# アプリケーションをインストールしなおすには

アプリケーションのインストールは、「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンして行ってください。「制限付きアカウント」のユーザーでログオンしている場合はインストールできません。

本機にインストールされているアプリケーションが正常に動作しなくなった場合、アプリケーションをインストールしなおすことで、不具合が解決することもあります。

- 市販のアプリケーションについては、それぞれに付属している説明書をご覧ください。
- 「Microsoft® Office XP Personal」については、ソフトウェアパッケージ内の説明書をご覧ください。

準備するもの：アプリケーションCD-ROM1（付属）
アプリケーションCD-ROM2（付属）
アプリケーションCD-ROM3（付属）

1 インストールしなおすアプリケーションを削除（アンインストール）*する。

*Windowsの機能を使ってハードディスクから削除すること。

→153ページ「アプリケーションの削除のしかた」

2 起動中のアプリケーションやメモリー常駐プログラム（ウィルスチェックプログラムなど）を終了する。

3 インストールしたいアプリケーションの入っているアプリケーションCD-ROMをセットする。

アプリケーションCD-ROM2やアプリケーションCD-ROM3をセットすると、自動でインストールメニューが表示されます。メニューに表示されるアプリケーションについては、メニューから選ぶ方法でも手順 ❹ 以降の方法でもどちらでもインストールできます。

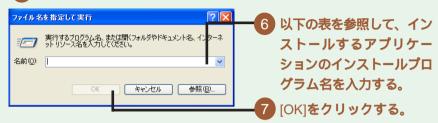
4 実行する動作の選択画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックする。

（次ページへ続く）

（つづき）

5 [スタート]→[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

6 以下の表を参照して、インストールするアプリケーションのインストールプログラム名を入力する。

7 [OK]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってインストールしてください。

アプリケーションCD-ROM1に入っているアプリケーション

| アプリケーション名 | インストールプログラム名 |
|---|---|
| 文字・アイコンの拡大表示 | D:￥BIGFONT￥setup.exe |
| ボタンユーティリティ | D:￥BTNUTIL￥setup.exe |
| CN-Stage | D:￥CNSTAGE￥setup.exe |
| DVキャプチャー | D:￥DVCAP￥setup.exe |
| DV@Talk | D:￥DVTALK￥setup.exe |
| 絵かき屋さん | D:￥EKAKIYA￥setup.exe |
| 画贈屋さん | D:￥GAZOUYA￥setup.exe |
| イラストメール | D:￥ILLUST￥setup.exe |
| インターネットスターター | D:￥ISTARTER￥setup.exe |
| MotionDV STUDIO*1 | D:￥MDVS￥SETUP￥setup.exe |
| パナソニックPCの初期設定 | D:￥PCINIT￥setup.exe |
| VideoGift | D:￥VGIFT￥setup.exe |

*MotionDV STUDIOをインストールするときに、下記のメッセージ画面が表示される場合があります。その際は、[OK]をクリックしてください。（MotionDV STUDIOの動作には問題はありません。）

（次ページへ続く）

（つづき）

## アプリケーションCD-ROM2に入っているアプリケーション

| アプリケーション名 | インストールプログラム名 |
|---|---|
| BeatJam XX-TREME*1 | ①D:￥BEATJAM￥BJ_SETUP￥setup.exe<br>②D:￥BEATJAM￥AT3￥atrac3.exe<br>③D:￥BEATJAM￥BJUP￥bjupap03.exe |
| BeatStream | D:￥BEATSTRM￥BS_SETUP￥setup.exe |
| B's Recorder GOLD*2 | D:￥BSGOLD￥setup.exe |
| 駅すぱあと*3 | D:￥EXPERT￥setup.exe |
| 蔵衛門デジブック for パナソニック | D:￥KURAEMON￥setup.exe |
| 印刷工房2001 for パナソニック | D:￥KOUBOU￥setup.exe |
| QuickTime | D:￥QTIME￥QuickTimeInstaller.exe |
| Acrobat Reader | D:￥READER￥ar500jpn.exe |
| バーチャルペインタープラス for パナソニック | D:￥VPAINT￥setup.exe |
| WinDVD | D:￥WINDVD￥setup.exe |

*1 BeatJam XX-TREMEのインストールについて
- 必ず、3つのインストールプログラムを ①、②、③の順に実行してください。
- インストールの途中でファイルの関連付け画面が表示されたら、「WMA」のチェックのみ外し、それ以外はすべてチェックを付けてください。
- 3つのプログラムのインストール操作が終了した後、[スタート]→[終了オプション]から[再起動]を行ってください。

*2 B's Recorder GOLDは初回起動時にシリアル番号の入力が必要です。（シリアル番号は、付属のB's Recorder GOLD/B's CLiPユーザー登録カードに記載）

*3 アプリケーションCD-ROM2をセットするとインストールメニューが自動的に表示されます。インストールメニューから選んでもインストールできます。

## アプリケーションCD-ROM3に入っているアプリケーション

| アプリケーション名 | インストールプログラム名 |
|---|---|
| 筆ぐるめ*1 | D:￥FUDEGURU￥setup.exe |

*1 アプリケーションCD-ROM3をセットするとインストールメニューが自動的に表示されます。インストールメニューから選んでもインストールすることができます。

解説

# セットアップユーティリティの設定

セットアップユーティリティでは、次のようなシステムやデバイスの設定を行います。

・システムの日付、時間、各デバイスのタイプの変更
・起動時のパスワードの設定・変更
・起動するデバイスの順位の変更　など

## セットアップユーティリティの起動のしかた

1 Windowsを終了して再起動する。

[スタート]→[終了オプション]をクリックし、[再起動]をクリックする。

2 「Press <F2> to Enter BIOS SETUP」が表示されているときにF2を押す。

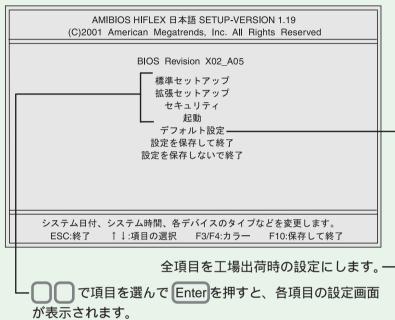
F2を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。この場合、Windowsを終了して再度やり直してください。

「Enter CURRENT Password」と表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。（ユーザーパスワードではセットアップユーティリティを起動することはできません。ここでユーザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードの変更画面が表示されます。）

（次ページへ続く）

**メイン画面**

（次ページへ続く）

（つづき）

## キー操作

下記のキーのうち、画面下側に表示されているものが使用できます。

| | |
|---|---|
| ↑ ↓ | :カーソルが上下に移動します。項目を選ぶときに使用します。 |
| Fn + PgUp<br>Fn + PgDn | :各項目の設定値を選ぶときに使用します。 |
| Enter | :メイン画面で ↑ ↓ を使って項目を選んだ後に押すと、各項目の設定画面が表示されます。 |
| F10 | :設定を保存して終了します。 |
| F3 F4 | :セットアップユーティリティ画面の文字や背景の色を変更するときに使用します。 |
| Esc | :メイン画面で押すと、終了の確認メッセージが表示されます。その他の設定画面で押すと、メイン画面に戻ります。 |

（次ページへ続く）

（つづき）

## セットアップユーティリティの終了のしかた

1. ESC を押してメイン画面に戻る。

**メイン画面**

| |
|---|
| 標準セットアップ<br>拡張セットアップ<br>セキュリティ<br>起動<br>デフォルト設定<br>設定を保存して終了<br>設定を保存しないで終了 |

2. ↑ ↓ で「設定を保存して終了」または「設定を保存しないで終了」を選び、Enterを押す。
3. 確認画面が表示されるので、終了してよければ ← → で「はい」を選び Enterを押す。

パソコンが再起動し、Windowsが起動します。

起動時のパスワードが有効になっている場合は、Windowsが起動するまでにスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力が必要です。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 標準セットアップ

メイン画面で ↑ ↓ を使用して「標準セットアップ」を選び、Enter を押す。

**工場出荷状態の画面例**

AMIBIOS SETUP - 標準セットアップ
(C)2001 American Megatrends, Inc. All Rights Reserved

システム日付（年/月/日）： 2001/11/11 日曜　　メモリサイズ　128 MB
システム時間（時：分：秒）： 11:13:47

フロッピードライブ A: 1 44 MB 3.5”

| | Type | Size | Cyln | Head | WPcom | Sec | LBA Mode | Blk Mode | PIO Mode | 32Bit Mode |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| プライマリーマスター： | 自動 | 28616 | | | | | オン | オン | 自動 | オン |
| セカンダリーマスター： | 自動 | CD/DVD | | | | | オン | オフ | 自動 | オン |

システム日付を西暦で変更します。
年：1901 - 2099
月： 01 - 12
日： 01 - 31

ESC： 終了　↑↓：項目の選択
PgUp/PgDn：値の変更
F3/F4： カラー

フロッピーディスクや接続されるデバイスのタイプを変更できます。
通常、設定を変更する必要はありません。

システムの日付と時間の確認・変更ができます。
また、現在のメモリー容量を確認できます。

カーソルで選択されている項目の設定値情報が表示されます。

現在表示されている画面で有効なキーの操作が表示されます。

（次ページへ続く）

（つづき）

## 拡張セットアップ

メイン画面で [↑] [↓] を使用して「拡張セットアップ」を選び、[Enter] を押す。

**工場出荷状態の画面例**

| Intel(R)SpeedStep(TM)テクノロジ　自動設定 |
| --- |

<CF-X10Rのみ>

インテル®SpeedStep™テクノロジ対応Pentium IIIプロセッサの処理スピードを[自動設定][常に省電力][常に最大速]のいずれかに設定します。[自動設定]の場合、ACアダプター接続時は最大速に、バッテリーでの使用時は省電力に切り換わります。

ただし、Windows起動時はWindowsにより制御されます。ここでの設定は無効となります。

（次ページへ続く）

（つづき）

## セキュリティ

メイン画面で ↑ ↓ を使用して「セキュリティ」を選び、Enter を押す。

**工場出荷状態の画面例**

| | |
|---|---|
| スーパーバイザーパスワードの設定 | Enter |
| ユーザーパスワードの設定 *1 | Enter |
| 起動時のパスワード *1 | 無効 |
| リジューム時のパスワード *2 | 無効 |

*1 スーパーバイザーパスワードを設定している場合のみ、設定できます。

*2 スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードを設定していて、起動時のパスワードを有効に設定している場合のみ、設定できます。

リジューム時のパスワード：「有効」に設定した場合、リジューム時にパスワードの入力が求められます。ユーザーパスワードを入力してください。

起動時のパスワード：「有効」に設定した場合、パソコン起動時にパスワードの入力が求められます。スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

ユーザーパスワードの設定：パソコンの起動、リジュームをパスワードによって保護します。「起動時のパスワード」や「リジューム時のパスワード」を無効に設定している場合は、ユーザーパスワードの入力は求められません。

スーパーバイザーパスワードの設定：パソコンの起動、セットアップユーティリティの起動をパスワードによって保護します。

スーパーバイザーパスワードを設定している場合、「起動時のパスワード」を「無効」に設定していてもセットアップユーティリティ起動時はパスワードの入力が求められます。

（次ページへ続く）

（つづき）

＜パスワード設定のしかた＞

お願い
・パスワードは忘れないようにしてください。
・スーパーバイザーパスワードを忘れた場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。（パスワードを解除する場合は、修理扱い（有償）となります。）→17ページ

1 セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューを選び[スーパーバイザーパスワードの設定]または[ユーザーパスワードの設定]を選んで Enter を押す。

・画面は、スーパーバイザーパスワードを設定する場合を例にしています。
・ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードを設定している場合のみ設定できます。

2 パスワードを設定する。

＜パスワードを新規に設定する場合＞

新しいスーパーバイザーパスワードを入力して下さい。

①パスワードを入力して Enter を押す。

新しいスーパーバイザーパスワードを確認して下さい。

②手順①で入力したパスワードを入力して Enter を押す。

新しいスーパーバイザーパスワードが有効になりました。何かキーを押して下さい。

③任意のキーを押す。

・入力したパスワードは画面に表示されません。
・ユーザーパスワードはスーパーバイザーパスワードと同じパスワードに設定することはできません。

（次ページへ続く）

（つづき）

<パスワードを変更する場合>

| 現在のスーパーバイザーパスワードを入力して下さい。 |
|---|

①現在設定済みのスーパーバイザーパスワードを入力して Enter を押す。
以降は、<パスワードを新規に設定する場合>の手順 ①〜③と同様に操作してください。

<設定済みのパスワードを無効にする場合>

| 現在のスーパーバイザーパスワードを入力して下さい。 |
|---|

①現在設定済みのスーパーバイザーパスワードを入力して Enter を押す。

| 新しいスーパーバイザーパスワードを入力して下さい。 |
|---|

②何も入力しないで Enter を押す。

| スーパーバイザーパスワードが無効になりました。何かキーを押して下さい。 |
|---|

③任意のキーを押す。

| ユーザーパスワードが無効になりました。何かキーを押してください。 |
|---|

④任意のキーを押す。

ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードが有効の場合のみ、設定することができます。スーパーバイザーパスワードを無効にすると、自動的にユーザーパスワードも無効に設定されます。

（次ページへ続く）

（つづき）

**パスワード入力の制限**

・入力可能な文字は、半角の英数字で、最大6文字までです。大文字、小文字の区別はありません。
・ Ctrl およびスペースキーなどの特殊キーとあわせて入力することはできません。
・テンキーによる入力はできません。数字は、キーボード上段の数字キーを使って入力してください。

**無断でパスワードを変更されることを避けるために**

・セットアップユーティリティを起動したままパソコンから離れないでください。

**パスワード設定時の起動**

以下のようにパスワードの入力を求められますので、設定したパスワードを入力してください。

セットアップユーティリティ起動時：[Enter CURRENT Password]
スーパーバイザーパスワードを入力して Enter を押してください。

パソコン起動時：[Enter CURRENT Password]
スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して Enter を押してください。ただし、起動時のパスワードが無効になっている場合は、入力を求められません。

リジューム時：画面表示はなし。キーボード上部の状態表示ランプが順番に点滅します。
ユーザーパスワードを入力して Enter を押してください。ただし、リジューム時のパスワードが無効になっている場合は、入力を求められません。

（次ページへ続く）

（つづき）

**パソコン起動時に、パスワードの入力を3回間違えると**
「System Locked」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押してパソコンの電源を切った後、もう一度、電源を入れなおして、正しいパスワードを入力してください。

**セットアップユーティリティ起動時に、パスワードの入力を3回間違えると**
- （パソコン）起動時のパスワードが無効になっている場合は、Windowsが起動します。
- （パソコン）起動時のパスワードが有効になっている場合は、「System Locked」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押してパソコンの電源を切った後、もう一度、電源を入れなおして、正しいパスワードを入力してください。

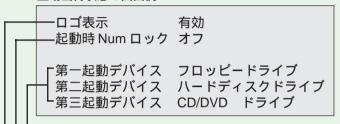
（セットアップユーティリティ起動時のパスワード入力の際に、ユーザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードの変更画面が表示されます。）

（次ページへ続く）

（つづき）

## 起動

メイン画面で ↑ ↓ を使用して「起動」を選び、Enter を押す。

**工場出荷状態の画面例**

システムを起動するドライブ（デバイス）の優先順位を設定します。

「オン」に設定しておくと、起動時にテンキーが有効になります。テンキーについて→57ページ「 Enter や NumLk など特殊なキーの使いかた」

「有効」に設定すると、ロゴ画面が表示されます。（BIOS診断画面は表示されません。）
「無効」に設定すると、ロゴ画面は表示されません。（BIOS診断画面が表示されます。）

解説

# ユーザーアカウントの作成のしかた

Windows XPでは、パソコンを複数のユーザーで使い分けることができます。ユーザーアカウントとは各ユーザーを識別するためのものです。アカウントには、「コンピュータの管理者」と「制限付きアカウント」の2種類があり、新しいアカウントの作成は、「コンピュータの管理者」として登録されているユーザーからのみ行うことができます。（→次ページ「＜コンピュータの管理者＞と＜制限付きアカウント＞」）

## 新しいユーザーアカウントの作成のしかた

下記手順に従って、新しいアカウントを作成することができます。

1. 「コンピュータの管理者」のユーザーでログオンする。
2. [スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]→[新しいアカウントを作成する]をクリックする。
3. 新しいアカウントの名前を入力する。
4. 「コンピュータの管理者」として登録するか、「制限付きアカウント」として登録するかを選ぶ。
5. [アカウントの作成]をクリックする。
6. 作成したアカウントのアイコンをクリックした後、アイコンの画像を変更したり、パスワードを作成したりする。

## ユーザーアカウントの切り替え

下記のようにして、電源を入れ直すことなく、各ユーザーアカウントを切り替えることができます。

1. [スタート]→[ログオフ]→[ユーザーの切り替え]をクリックする。
2. ログオンしたいアカウントのアイコンをクリックする。

# ＜コンピュータの管理者＞と＜制限付きアカウント＞

複数のユーザー（アカウント）でパソコンを使い分ける場合、各アカウントの種類を「コンピュータの管理者」か「制限付きアカウント」のどちらかに設定する必要があります。

「制限付きアカウント」にした場合、次のことを行うことができません。

- アカウントの作成、変更、および削除
- パソコンのシステム全体に関わる変更
- プログラム（周辺機器のドライバーやアプリケーションなど）のインストール
- 一部のファイルへのアクセス
- 一部のプログラムの実行

用途に応じて、各アカウントの種類を設定してください。

# 電気通信事業法に基づく表記

このパソコンに内蔵されているモデムは、電気通信事業法による端末機器技術基準認証を取得しています。

認証機器名　：1456VQL19R(INT)
認証申請者名：ASKEY Computer Corporation
認証番号　　：A00-0042JP

お願い
- ご使用になる前に、『はじめましてパソコン』「安全上のご注意」をご覧ください。
- このパソコンに内蔵されているモデムを、他のモデムに交換することはできません。

## 内蔵モデム＊の取り外しかた

*内蔵モデムは、アナログ電話回線を使用して通信を行うための機器です。

お願い
下記手順は、上記認証機器名などを確認するためのものです。下記手順を行って生じた故障につきましては、有償修理となります。

1 操作を終わり、電源が切れたことを確認し、ACアダプターとバッテリーパックを取り外す。

→100ページ「バッテリーパックの取り付け／取り外し」

2 本体を裏返して、下図のようにネジを取り外す。

お願い
- ネジのサイズにあったドライバー（精密ドライバーなど）をご使用ください。
- 取り外したネジはなくさないようにしてください。

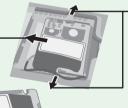
（次ページへ続く）

（つづき）

## 3 カバーを取り外す。

## 4 内蔵モデムを取り外す。

**お願い**

- 内蔵モデムは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。取り付けおよび取り外しのときは、端子などに触れないようにしてください。また、本体内部の部品や端子などにも触れないでください。
- コネクターを取り外す際には、強く引っ張りすぎないように注意してください。

①左右のフックを外側に広げる。内蔵モデムが少し浮き上がります。

②内蔵モデムを斜め上の方向に引き抜く。

③コネクターを取り外す。

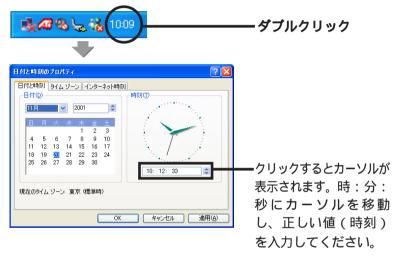
**内蔵モデムを取り付ける場合**

- 上記①～③と逆の手順で行います。
- 向きと角度に注意して差し込んでください。向きやミゾとの角度を間違うとうまく入りません。
- コネクターのケーブルを、カバーとの間に挟まないように気をつけてください。

## 5 カバーを取り付ける。

**お願い** 必ず、手順❷で取り外したネジをご使用ください。

## Q 画面上の日付や時刻の表示が間違っている

**A** タスクバーの時計をダブルクリックして正しい日付と時刻を設定してください。

**A** 上記設定をしてもすぐに日付や時刻が間違って表示される場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー(リチウム電池)の残量がない可能性があります。
お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。

**A** LANに接続している場合、サーバーの日付や時刻を確認してください。詳しくは、ネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

## Q パソコンが温かくなる

**A** パソコンの以下の部分が温かくなりますが異常や故障ではありません。

- キーボード操作をするときの（右）手のひらのあたり
- ディスプレイの下の「Panasonic」のあたり
- 底面

ただし、直接ひざの上にのせて長時間操作すると「低温やけど」の恐れがありますので避けてください。

また、通風孔の近くにACアダプターなど、物を置かないでください。

→ 『はじめましてパソコン』「安全上のご注意」

## ●英数字●

## ●あ●

## ●か●



## ●さ●

## ●た●

## ●な●

## ●は●